

夢未来高等学院（通信制高校サポート校）
合格者オリエンテーション資料

令和5年度 ころ未来高等学校

学習の手引

Justice Soul ～正義の精神～



校訓
感 快 立
謝 心 志

ころ未来高等学校通信制課程で学ぶための案内書です。重要事項を記載しています。

学校法人 第二岩永学園

ころ未来高等学校

〒850-0822 長崎市愛宕3丁目19-23

TEL(095)822-7733

FAX(095)822-6611

校 歌

作詞 岩永守弘 作曲 光嶋智法

| | |
|-------------|--------------------------|
| 心豊かに創造し | 何のためにを追求し |
| 自分らしさを育てゆく | 知識・技術を高めゆく |
| 誠実・挨拶・心くばり | 知恵と感性・思考の力 |
| 気力・体力・集中力 | 行動・意識と存在感 |
| 心技翔創変の精神のもと | 心技翔創変の精神のもと |
| 己の道を切りひらく | 社会に貢献を旨とする 「こころ」とともに歩き出せ |

はじめに

こころ未来高等学校で学ぶみなさんに「学習の手引き」をお届けします。

これは、こころ未来高等学校を本部校とする通信制高校サポート校『夢未来高等学院』の生徒が、通信制課程で学ぶための案内書です。この手引きをていねいに読んで、それぞれのペースでしっかりと学習を進めてください。

通信制課程は自学自習が基本です。登校して直接指導を受ける機会が少ないため計画的かつ効果的に学習を進めるには、手引きの内容を十分に理解して自分で取り組むことが大切です。手引きを活用し、学習の進め方や諸手続きに間違いや遅れがないようにして学習を進めていきましょう。

スタートラインはそれぞれ異なっても、決意と目標をもって高校生活をスタートしたその思いは共通です。学習を継続し卒業までたどり着くためには、最後まであきらめない強い意志と、たゆまぬ努力が必要です。

たゆまざる 歩みおそろし かたつむり

初志貫徹、無事に卒業の日を迎えられるよう一緒に学びを進めていきましょう。

〈目次〉

| | | |
|----|-------------------|-------|
| 1 | 教育課程表 | 1~2 |
| 2 | 入学から卒業までの流れ | 3 |
| 3 | 学習の進め方 | 4 |
| 4 | 添削課題（レポート）への取組と評価 | 5~6 |
| 5 | スクーリング（面接指導）の受け方 | 7 |
| 6 | 試験 | 7~8 |
| 7 | 各種メディア・動画コンテンツの活用 | 8~9 |
| 8 | 特別活動 | 9~10 |
| 9 | 単位の修得 | 10 |
| 10 | 卒業要件 | 11 |
| 11 | 進路指導 | 12~13 |
| 12 | 生徒心得 | 14~15 |
| | （1） 通学・帰宅時 | |
| | （2） スクーリング | |
| | （3） 校内生活 | |
| | （4） 校外生活 | |
| 13 | 事務手続き | 15~16 |
| | （1） 授業料納入 | |
| | （2） 学籍異動 | |
| | （3） 各種証明書の交付 | |
| | （4） その他 | |
| 14 | 感染症等への対応 | 17 |
| 15 | KOKORO LINE への登録 | 18 |

令和5年度 ころ未来高等学校 教育課程表（新課程）

1・2年生

| 教科 | 科目 | 単位数 | 備考 | 1年 | | 2年 | | 3年 | | 計 | 添削指導 法定枚数 | 面接指導 法定時数 |
|-----------|--------------|-----|---------------------------------|----|----|----|----|----|----|----|--------------|--------------|
| | | | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | | | |
| 国語 | 現代の国語 | 4 | 必修 | 2 | 2 | | | | | | 12 | 4 |
| | 言語文化 | 4 | 必修 | | | 2 | 2 | | | | 12 | 4 |
| | 文学国語 | 4 | | | | | | 2 | 2 | | 12 | 4 |
| 地歴 | 地理総合 | 2 | 必修 | 1 | 1 | | | | | | 6 | 2 |
| | 歴史総合 | 2 | 必修 | | | 1 | 1 | | | | 6 | 2 |
| 公民 | 公共 | 2 | 必修 | 1 | 1 | | | | | | 6 | 2 |
| | 倫理 | 2 | | | | | | 1 | 1 | | 6 | 2 |
| | 政治・経済 | 2 | | | | 1 | 1 | | | | 6 | 2 |
| 数学 | 数学Ⅰ | 4 | 必修 | | | 2 | 2 | | | | 12 | 4 |
| | 数学Ⅱ | 4 | | | | | | 2 | 2 | | 12 | 4 |
| | 数学A | 2 | | | | 1 | 1 | | | | 6 | 2 |
| 理科 | 科学と人間生活 | 2 | 「科学と人間生活」＋ 「化学基礎」「生物基礎」から1科目 | 1 | 1 | | | | | | 6 | 8 |
| | 化学基礎 | 2 | | | | | | 1 | 1 | | 6 | 8 |
| | 生物基礎 | 2 | | | | 1 | 1 | | | | 6 | 8 |
| 保健 | 体育 | 7 | 必修 | 2 | 1 | | | | | | 3 | 15 |
| | | | | | | 1 | 1 | | | | 2 | 10 |
| | | | | | | | | 1 | 1 | | 2 | 10 |
| | 保健 | 2 | 必修 | | 1 | | | | | 3 | 1 | |
| | | | | | | 1 | | | | 3 | 1 | |
| 芸術 | 美術Ⅰ | 2 | 必修 | 1 | 1 | | | | | | 6 | 8 |
| | 美術Ⅱ | 2 | | | | 1 | 1 | | | | 6 | 8 |
| 外国語 | 英語コミュニケーションⅠ | 4 | 必修 | | | 2 | 2 | | | | 12 | 16 |
| | 英語コミュニケーションⅡ | 4 | | | | | | 2 | 2 | | 12 | 16 |
| | 論理・表現Ⅰ | 2 | | | | | | 1 | 1 | | 6 | 8 |
| 家庭 | 家庭基礎 | 2 | 必修 | | | 1 | 1 | | | | 4 | 4 |
| 情報 | 情報Ⅰ | 2 | 必修 | 1 | 1 | | | | | | 4 | 4 |
| 学校 設定 | 高校国語入門 | 2 | | 1 | 1 | | | | | | 6 | 2 |
| | 高校数学入門 | 2 | | 1 | 1 | | | | | | 6 | 2 |
| | 高校英語入門 | 2 | | 1 | 1 | | | | | | 6 | 2 |
| 総合的な探究の時間 | | 1～2 | 3～6単位必修 | 1 | 1 | | | | | | 2 | 2 |
| | | 1～2 | | | | 1 | 1 | | | 2 | 2 | |
| | | 1～2 | | | | | | 1 | 1 | | 2 | 2 |
| 合計 | | | | 26 | | 29 | | 22 | | 77 | | |

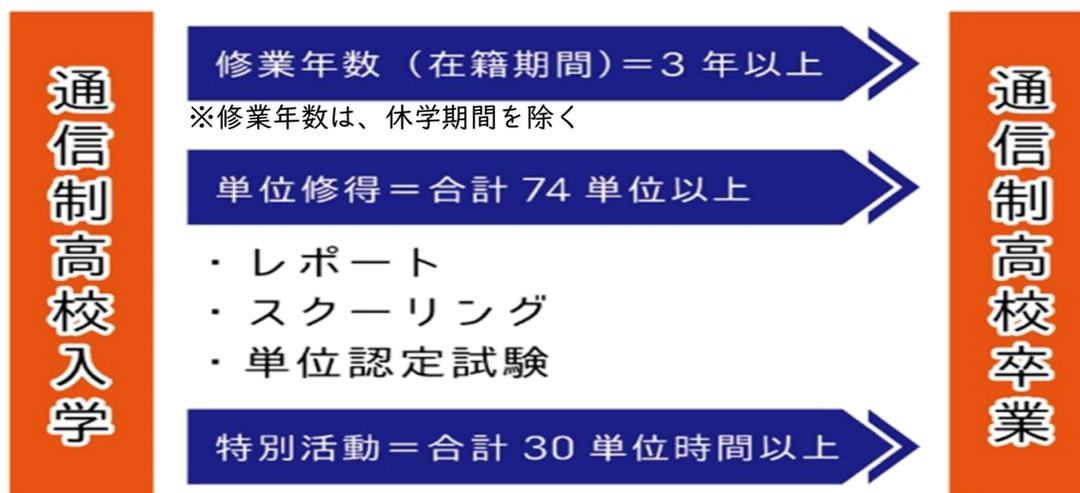
令和5年度 ころ未来高等学校 教育課程表 (旧課程)

3年以上

| 教科 | 科目 | 単位数 | 備考 | 1年 | | 2年 | | 3年 | | 計 | 添削指導 法定枚数 | 面接指導 法定時数 | |
|-----------|---------------|-----|-----------------------------|----|----|----|----|----|----|----|--------------|--------------|----|
| | | | | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | 前期 | 後期 | | | | |
| 国語 | 国語総合 | 4 | 必修 | 2 | 2 | | | | | | 12 | 4 | |
| | 国語表現 | 3 | | | | 2 | 2 | | | | 12 | 4 | |
| | 現代文A | 2 | | | | | | 1 | 1 | | 6 | 2 | |
| 地歴 | 世界史A | 2 | 必修 | | | | | 2 | | | 6 | 2 | |
| | 日本史A | 2 | | | | 2 | | | | | 6 | 2 | |
| | 地理A | 2 | 必修 | | 2 | | | | | | 6 | 2 | |
| 公民 | 現代社会 | 2 | 「現代社会」または「倫理」および「政治・経済」 | 2 | | | | | | | 6 | 2 | |
| | 倫理 | 2 | | | | 2 | | | | | 6 | 2 | |
| | 政治・経済 | 2 | | | | | | 2 | | | 6 | 2 | |
| 数学 | 数学Ⅰ | 3 | 必修 | | 2 | 2 | | | | | 12 | 4 | |
| | 数学Ⅱ | 4 | | | | | | 2 | 2 | | 12 | 4 | |
| | 数学A | 2 | | | | 2 | | | | | 6 | 2 | |
| 理科 | 科学と人間生活 | 2 | 「科学と人間生活」+「化学基礎」「生物基礎」から1科目 | 1 | 1 | | | | | | 6 | 8 | |
| | 化学基礎 | 2 | | | | | 1 | 1 | | | 6 | 8 | |
| | 生物基礎 | 2 | | | | 1 | 1 | | | | 6 | 8 | |
| 保健 | 体育 | 7 | 必修 | 2 | 1 | | | | | | 3 | 15 | |
| | | | | | | 1 | 1 | | | | | 2 | 10 |
| | | | | | | | | 1 | 1 | | | 2 | 10 |
| 保健 | 保健 | 2 | 必修 | | 1 | | | | | | 3 | 1 | |
| | | | | | | | 1 | | | | | 3 | 1 |
| | | | | | | | | | | | | | |
| 芸術 | 美術Ⅰ | 2 | | 1 | 1 | | | | | | 6 | 8 | |
| | 美術Ⅱ | 2 | | | | 1 | 1 | | | | 6 | 8 | |
| 外国語 | コミュニケーション英語基礎 | 2 | | 1 | 1 | | | | | | 6 | 8 | |
| | コミュニケーション英語Ⅰ | 3 | 必修 | | | 2 | 2 | | | | 12 | 16 | |
| | コミュニケーション英語Ⅱ | 4 | | | | | | 2 | 2 | | 12 | 16 | |
| 家庭 | 家庭基礎 | 2 | 必修 | | | 1 | 1 | | | | 4 | 4 | |
| 情報 | 社会と情報 | 2 | いずれか1科目を選択必修 | 1 | 1 | | | | | | 4 | 4 | |
| | 情報の科学 | 2 | | | | 1 | 1 | | | | 4 | 4 | |
| 学校設定 | 高校国語入門 | 2 | | 1 | 1 | | | | | | 6 | 2 | |
| | 高校数学入門 | 2 | | 2 | | | | | | | 6 | 2 | |
| | 高校英語入門 | 2 | | 1 | 1 | | | | | | 6 | 2 | |
| 総合的な探究の時間 | | 1~2 | 3~6単位必修 | 1 | | | | | | | 1 | 1 | |
| | | 1~2 | | | | 1 | | | | 1 | 1 | | |
| | | 1~2 | | | | | | 1 | 1 | | 2 | 2 | |
| 合計 | | | | 29 | | 28 | | 20 | | 77 | | | |

2 入学から卒業までの流れ

通信制高校の学習の基本は、レポート(添削課題)、スクーリング(面接指導)、試験です。
自分のライフスタイルに応じて学習計画を立てられる点が、通信制高校のメリットといえます。



| 科目 | 提出回数 | 提出時期 |
|-----|------|------|
| 国語 | 1回 | 10月 |
| 英語 | 1回 | 10月 |
| 数学 | 1回 | 10月 |
| 理科 | 1回 | 10月 |
| 社会 | 1回 | 10月 |
| 総合 | 1回 | 10月 |
| 体育 | 1回 | 10月 |
| 音楽 | 1回 | 10月 |
| 美術 | 1回 | 10月 |
| 保健 | 1回 | 10月 |
| 職業 | 1回 | 10月 |
| 外国語 | 1回 | 10月 |
| 情報 | 1回 | 10月 |
| 家庭 | 1回 | 10月 |
| 英語 | 1回 | 10月 |
| 数学 | 1回 | 10月 |
| 理科 | 1回 | 10月 |
| 社会 | 1回 | 10月 |
| 総合 | 1回 | 10月 |
| 体育 | 1回 | 10月 |
| 音楽 | 1回 | 10月 |
| 美術 | 1回 | 10月 |
| 保健 | 1回 | 10月 |
| 職業 | 1回 | 10月 |
| 外国語 | 1回 | 10月 |
| 情報 | 1回 | 10月 |
| 家庭 | 1回 | 10月 |



- ① レポート添削 … 自宅でレポートを作成し、教科担任が添削指導して返却します。
- ② スクーリング … 登校し、授業を受けます。
- ③ 試 験 … レポートの規定枚数、スクーリングの規定時数を満たした科目について受験します。
前期・後期の年2回
- ④ 特別活動 … 3年間で30時間以上の特別活動への参加が必要です。
特別活動は、体育祭、文化祭、入学式、卒業式などの学校行事やHR、各種講話等に参加することで単位を修得していきます。

3 学習の進め方

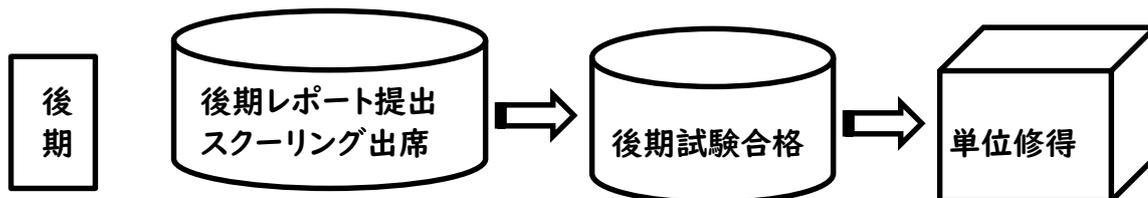
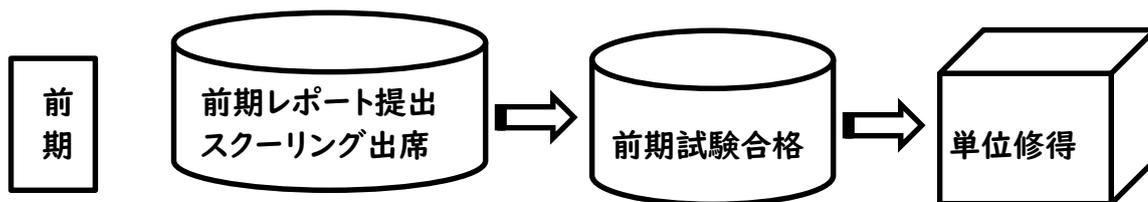
3つのポイント

- ☆ 添削課題(レポート)は自学自習が基本
- ☆ 計画的に学習を進め、期日を守って提出
- ☆ 決められた面接指導(スクーリング)に必ず出席

通信制課程の学習は、自ら主体的に学習に向かう意欲と積極性が必要です。具体的には、教科書等を使って自力でレポートを作成し、教科担任による添削指導を受けます。授業を受けることで、分からなかったことが分かるようになり、新たな発見があったりして理解を深めることができます。

レポートの提出、スクーリングへの出席が良好な場合、試験を受けることができます。

科目ごとに受験資格の要件は異なります。各科目の学習内容は資料 1-16、レポート枚数やスクーリング時間数などは資料 17 に示しています。自分で学習計画を立てて、計画的に学習を進めましょう。



4 添削課題(レポート)への取組と評価

自宅でレポートを作成し、学校へ提出します。

提出されたレポートは、教科担任が添削して、本人に返します。返却されたレポートは、必ず復習して保管してください。規定枚数のレポート全てが合格となったら、レポート内容の理解度を測る定期試験を受けることができます。

レポート作成の留意事項

- (1) レポートは、No1から順番に、**計画的**に取り組みましょう。
- (2) レポートは、教科書等をよく読んで、**自分で**作成しましょう。
- (3) 解答欄に空欄が多い場合や合格点に達していないレポートは再提出となります。
- (4) レポートは正確な文字で、ていねいに書いてください。乱雑な文字で内容が読み取れないレポートは、再提出となる場合があります。
- (5) レポートの指定の欄に取り組んだ際の日付や学年・所属校・氏名などの必要事項をすべて記入し、記入忘れがないことを確認して提出してください。

レポート提出についての留意事項

- (1) レポートの提出枚数は科目ごとに決められています。
- (2) レポートは提出しめきり日までに提出してください(資料18参照)。
- (3) レポートは、必ず夢未来高等学院の先生に提出(原則手渡し)するようにしてください。

☆郵便でのレポート提出について☆ (夢未来高等学院の先生に指示された場合)

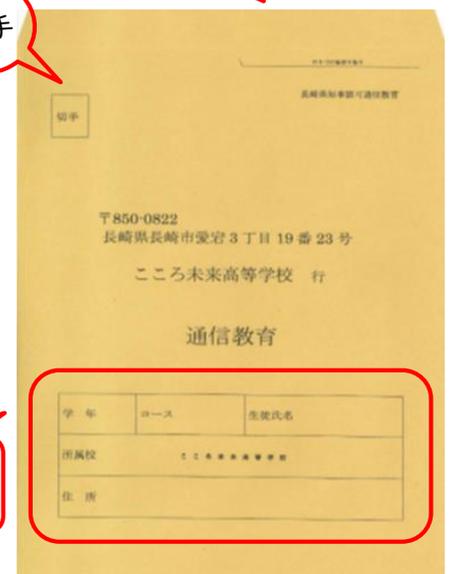
郵送の場合は、第4種郵便(通信教育用)の封筒で郵送してください。

封筒を糊付けしたら、右上の点線にそって切りとります。切っていないものは普通郵便となりますので、注意してください。

学年・所属校
氏名など記入

封をした後に切ること

切手



郵送の場合の注意事項

- レポートや学習課題の提出は、第4種郵便で郵送することができます。
- 上記以外の文書(学習に関係のない内容のもの)については、普通郵便(84円切手)

を利用してください。

- ★第4種郵便の切手代
100g以内 15円
100gを超える場合は
100gごとにプラス10円

| グラム数 | 切手の金額 |
|--------|-------|
| 100g以内 | 15円 |
| 200g以内 | 25円 |
| 300g以内 | 35円 |
| 400g以内 | 45円 |

レポートの採点方法

- (1) しめきり日までに提出され、かつ以下の点数をとれた場合は合格です。
80点~100点…A 60点~79点…B
- (2) しめきり日までに提出したが、60点未満になった場合は「C」評価となり不合格、
再提出となります。
再提出の場合は、80点以上になるまで再度提出してください。

【例1】

レポート点 50点

合格するまで提出

80点以上で合格

※ただし、レポート点は一律 60点

- (3) しめきり日を過ぎて提出した場合は、一律にレポート点から減点されます。

《 補足事項 》

- スクリーニングや放送視聴を有効活用し、レポート作成に役立てましょう。
- レポート提出後10日経っても返却されない場合は、夢未来高等学院へ問い合わせてください。

5 スクーリング(面接指導)の受け方

通信制課程の学校で行われている面接指導は、スクーリングと呼ばれます。

面接指導(授業)は先生から直接指導を受ける大事な機会です。積極的に授業に出席して先生の説明を聞いたり質問をしたりして、分からないところや疑問点を解決し、学習内容を理解していきましょう。

面接指導では

- (1) 各科目における重要な学習事項と学習方法を学ぶことができます。
- (2) 教科担任が、授業開始時に**出席カード**に押印し、出席したことを記録します。原則、遅刻は認められません。

スクーリングの期日や会場(試験の期日や会場についても含む)は、資料 21-23 で詳しく記載していますので、そちらを参照してください。

6 試験

試験は、前期試験と後期試験の2回です。

試験の時間割、範囲など詳しいことは、試験の2週間前までにお知らせします。

(1) 受験資格

(前期・後期ともに)

- ・科目ごとに定められているレポートの枚数及びスクーリングの時数を完了していること

(2) 受験上の注意

- ・試験は厳正な態度で受けること
- ・机上には筆記用具のみ置くこと
- ・レポート、教科書、筆箱等はカバンに入れて、指定された場所に置くこと。机の中には何も入れないこと
- ・原則、時間途中の退席は認められません
- ・原則、遅刻は認められません

(3) 追試験

成績が認定基準に達しない場合に追試験を実施します。

(4) 結果の通知

各教科・科目の成績の評価は、下記の資料に基づいて総合的に行います。

- ① 試験の評点
- ② レポートの評点
- ③ 出席状況・授業態度

上記①～③を総合的に評価し、各科目の評点を確定します。

結果については、全ての試験が終了後、本人と夢未来高等学院あてに郵送します。

7 各種メディア・動画コンテンツの活用

(1) NHK「高校講座」の利用

NHK「高校講座」は、自学自習を基本とする通信制で学ぶみなさんにとってとても心強い味方です。NHK・Eテレ・ラジオ第2放送で放送されています。

教科書等を参考にしてもなかなか理解できない、レポートが進まないときなど利用してみてください。映像に合わせて解説してくれますのでレポートの理解に役立ちます。



NHK「高校講座」を利用すると

- ☆ レポート学習に取り組みやすくなります
- ☆ スクーリング(面接指導)の予習・復習になります
- ☆ 試験前に視聴すると試験対策にもなります

パソコンやスマートフォンを活用すると

- ☆ 好きな時間にいつでも視聴できます
- ☆ 繰り返し視聴できます
- ☆ 理解を深める「学習メモ」を利用できます
- ☆ 基本的な内容が理解できているか自分で確認できます



こちらのQRコードを読み取ると
NHK「高校講座」のサイトを閲覧
することができます。

放送視聴の詳細については、資料19-20で詳しく記載していますので、そちらを参照してください。

(2) 授業動画の活用

先生方の学習支援(授業)の様子をビデオで録画しながら、同時にオンラインで配信する予定です。また、録画した動画を後日視聴することもできます。

プログラム、視聴の仕方、パスワードなどは、時間割が確定した後に改めてお知らせします。

- ① 学習支援(レポート解説)授業のオンライン映像視聴
- ② 学習支援(レポート解説)授業の録画映像視聴
- ③ 特別活動(各種講話)のオンライン映像視聴

※③については、資料 24-25 で詳しく記載していますので参照してください。

8 特別活動

通信制課程は登校日数が限られてはいますが、社会の一員としてよりよい生き方を身に付けていくための貴重な学習の場として、年間を通して各種行事やホームルーム等のさまざまな活動を計画し、積極的な参加を促しています。

卒業の要件として、30 時間以上特別活動に参加する必要があります。

通信制で学ぶ過程では、様々な理由から学習が滞ったり、登校が難しくなったりすることがあります。そんなとき、仲間と助け合ったり、スポーツや共通の趣味などを楽しんだりすることができれば、高校生活への新たな意欲へとつながります。

特別活動に参加することで仲間を作り、互いに励まし合いながらともに卒業の日を迎えましょう。

< 特別活動の種類 >

(1) ホームルーム活動(本母校から YouTube で LIVE 配信)

生と性に関する講話、薬物乱用防止講話、人権教育に関する講話、
情報教育に関する講話、平和に関する講話進路学習、その他

…夢未来高等学院で動画配信による特別活動に参加することもできます。
動画視聴後、特別活動報告書を作成し、夢未来高等学院へ提出してください。

(2) 生徒会活動

生徒会活動、ボランティア体験、予餞会、その他

(3) 学校行事等

入学式、卒業式、始業式、終業式、文化祭、避難訓練、防災に関する講話、
体育祭、球技大会、定時制通信制体育大会、修学旅行、歓迎遠足、その他

※今年度の各種行事・講話等の実施予定は、資料 24-25 を参照してください。

9 単位の修得

(1) 履修認定

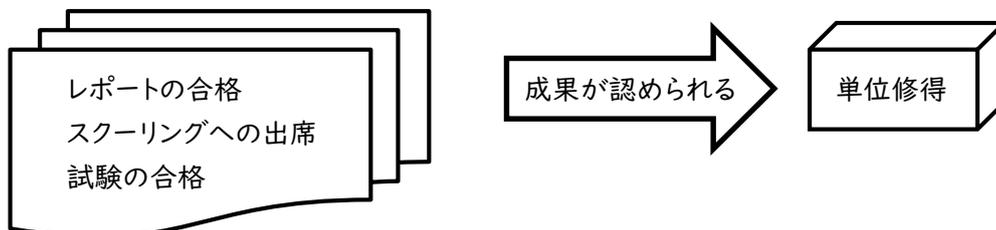
条件

- ①科目ごとに定められたレポートを提出し、合格していること
- ②科目ごとに定められた時間数以上のスクーリング(面接指導)に出席していること

(2) 単位認定

「履修認定」の条件を満たし、試験を受け、それらの成績を総合的に評価して、各教科の目標を満たしていると判断されると単位が認定されます。

単位は、前期と後期それぞれで認定されます。



(3) 評価

各教科の成績を 100 点法で算出したものは評点、5 段階で算出したものが評定です。

単位を修得した場合、成績に応じて5~2の評定がつきます。ただし、履修は認められるが単位は認められない場合「1」の評定となります。

評定は、進学や就職の際、学習状況の資料として調査書に記載されます。

10 卒業要件

卒業の時期は、前期が9月、後期が3月の年2回です。

次の各号にかかげる要件を満たし、校長が適当と認めた場合に卒業が認められます。

- ① 修業年限3年(36ヶ月)以上であること
- ② 必履修科目をすべて履修し、74単位以上修得していること
(総合的な探究の時間を含む)
- ③ 特別活動30単位時間以上履修していること

11 進路指導

高校時代は、子どもから大人への過渡期としての重要な時を過ごすことになります。自分とは何か、これからどのように生きていくのか、社会における自分の役割は何なのか、内なる自分と向き合い、自分の未来像についていろいろと考える時期です。

成人年齢が18歳に引き下げられ、高校3年生で成人として扱われるようになります。人生100年時代を迎え、職業生活は長く40～50年が普通になってきます。この長い期間をどのように生きていくのか、卒業後の進路選択は生き方を方向付ける重要な課題です。

これから学習と体験を重ねて、自らの意志で判断し進路決定できるようにしましょう。

(1) 進路選択の過程

- ①進路に関心をもつ
- ②自己を知る
- ③情報を集める(調べる、見る、聞く、体験する)
- ④自己について深く考える
- ⑤学校訪問、職場体験などを行う
- ⑥目標の明確化、進路計画の立案、検証
- ⑦具体化
- ⑧進路選択、決定

(2) 就職活動

- ①学校紹介(ハローワーク) … ・ 7月～本部校に送付される
「求人票」を見て受験
職業安定所のwebページ掲載の
求人票を見て受験
(要 企業への受験の可否の問い合わせ)
・ 9月中旬～選考開始(一人一社制)
・ 10月～合同面談会への参加
(企業と生徒との面談会)
- ②ハローワーク紹介 … 1月以降、一般求職者の求人票を「学卒求人」に転換

(3) 進学

進学の場合は、各大学や専門学校が主催するオープンキャンパスや進学説明会にできるだけ参加し、情報を集めるようにしましょう。

入学願書等は、基本的には各自で取り寄せて受験します。入試区分によって、必要な書類が異なりますので注意してください。

- ①大学入試共通テスト … 願書は本部校で取りまとめて提出します
- ②一般入試 … 私立大学は入試の複線化が進み、内容、時期も多様化しています
- ③学校推薦型選抜

以下の3項目に該当する生徒が対象となります。

特に、成績や生活態度は3年生になってからでは間に合わないこともあります。1年生からの積み重ねが大事です。

<推薦入試を希望する場合の留意点>

- ・進学先の応募条件(評定平均)を満たしている者
- ・意欲的に学習に取り組んでおり、主体的計画的に学習を進めている者
- ・生活態度が良好で、目的意識をもち諸活動に意欲的に取り組んでいる者

※推薦入試は専願です。合格したら、必ず入学しなければなりません。

- ④総合型選抜(旧AO入試)

受験することが決定したら、志願先と受験日を担任に知らせてください。

12 生徒心得

(1) 通学・帰宅時

- ①社会の一員としての規範意識をもち、公共の場に適した身なりと言動を心がけること。
- ②始業時間の5分前までには登校し、授業を受ける態勢を整えること。
- ③交通規則を遵守し、安全な通学と帰宅を心がけること。通学には、徒歩か公共交通機関を利用すること。
(本校では、自動車や自動二輪車での通学は認められていません。)

(2) スクーリング

- ①始業時間等は各自で確認して行動すること。
- ②携帯電話は登校時、教員の指示に従い携帯電話ボックスに入れて預けること。下校時に返却する。
※遅刻・早退の場合は、所定の場所に預け、下校に返却を受けること。
- ③欠席する場合は、夢未来高等学院の先生に保護者を通じて電話にて理由等を連絡すること。
- ④遅刻した場合は、教員にその理由を明確に伝えること。原則として、遅刻した場合は出席としては認められないので注意すること。
- ⑤早退する場合は、教員に許可をもらうこと。

(3) 校内生活

- ①私物は自己責任のもと、各自で管理すること。必要がある場合は、貴重品は先生に預けること。
- ②使用した教室・場所は整理整頓し、清掃後責任を持って戸締りをする。
- ③常に教室の美化に努め、ごみは所定のゴミ箱に捨てて清潔な学習環境の保持に努めること。
- ④服装などの容姿はその人の品性を表すものです。端正で質素と清潔さを常に心掛け、勉学の場にふさわしい服装、良識ある行動を心がけること。
※規定がある場合、制服を着用すること。
- ⑤学院内・本校校内は禁煙。違反した場合は、生徒指導（懲戒）の対象となる。

(4) 校外生活

- ①生徒証明書（身分証明書）は常に携帯し、必要に応じて提示すること。
- ②健全な友情を培うこと。また、異性等との交際は健全明朗であること。男女等間の行き過ぎた交際は互いを傷つけたり、高校生としての生活に支障をきたしたりすることもあるので節度ある交際を心がけること。
- ③仕事やアルバイトは、学校生活に支障がないよう各自で体調やスケジュールの管理を行うこと。アルバイトの職種として、主にアルコール類を扱うもの（居酒屋等）、危険が伴うもの、深夜に及ぶもの、泊を伴うもの、その他法律に違反するものは禁

止する。アルバイトに従事する際は、保護者が時間や場所等を把握し、保護者の責任と監督の下で行うこと。必ず、アルバイトに応募する前に、夢未来高等学院に相談すること。

④携帯電話等の利用についての注意事項

- ア 携帯電話に依存しない生活を心がけ、使用は必要最低限にすること。
- イ メールやLINE等SNSを利用する場合は、書き込んだ内容や画像・動画が、トラブルになる可能性がないかをよく考えて使用すること。
- ウ インターネット上の有害サイトや違法サイトは、犯罪に巻き込まれるおそれがあるので十分気を付けること。
- エ インターネット上やSNSで知り合った人と安易に交流をもったり会いに行ったりしないこと。
- オ SNS (LINE のタイムライン、Twitter、Instagram、TikTok、Facebook など) に学校内で撮影したものは投稿しない。写真や動画を投稿する際、他者(友だちを含む)が映り込んでいる場合は、許可を取っているか、トラブルが起きないかをよく考えること。流出して犯罪に巻き込まれる可能性もあるので、安易に画像等を投稿しないよう気を付けること。

13 事務手続き

(1) 授業料納入

授業料は原則として規定の学費を一括で夢未来高等学院へ納入していただきます。

(2) 学籍異動

① 次のような変更・異動があった場合は、必ず夢未来高等学院へ届け出てください。

- ア 住所を変更したとき(学籍異動届)
- イ 姓名が変更になったとき(学籍異動届)
- ウ 電話番号やメールアドレスなど連絡先を変更したとき

② 次の場合は、速やかに所定の様式により願い出て、手続きをしてください。

- ア 通学コースを変更するとき(通学コース異動願)
- イ 休学するとき(休学願)
- ウ 復学するとき(復学願)
- エ 転学するとき(転学願)
- オ 退学するとき(退学願)

(3) 各種証明書の交付

各種証明を受けたいときは、所定の「交付願」に手数料を添えて夢未来高等学院へ申し込んでください。手数料はお釣りのないように用意して、夢未来高等学院に現金で支払ってください。

発行後は夢未来高等学院を通じて各種証明書を依頼した生徒に渡します。

また、成績証明書・単位修得証明書・調査書・卒業証明書の交付申請書は、夢未来高等学院にデータを共有しています。

別途送料がかかりますので、送料は別表を参考にしてください。

◀ 別表 ▶

| 番号 | 各証明書 | 手数料 | 送料(レターパックライト) |
|----|--------------------------|------|---------------|
| 1 | 在学証明書 | ¥400 | ¥370 |
| 2 | 卒業見込証明書 | ¥400 | ¥370 |
| 3 | 卒業証明書 | ¥400 | ¥370 |
| 4 | 単位修得証明書 | ¥400 | ¥370 |
| 5 | 成績証明書 | ¥400 | ¥370 |
| 6 | 調査書 | ¥400 | ¥370 |
| 7 | 推薦書 | ¥400 | ¥370 |
| 8 | 生徒証明書の再発行 | ¥400 | ¥370 |
| 9 | 通学証明書、JR・バス・電車 通学定期券等 | ¥ 0 | ¥ 0 |

※郵便料金の改定等により、変更する場合があります。

※あわせて資料 30 もご確認ください。

(4) その他

① 証明書は、本部校の事務が最終的に対応するため、即日交付はできません。証明書の種類により、発行に時間がかかる場合があるので、日数に余裕をもって申し込むようにしてください。

② 証明書は発行可能な年限がありますのでご注意ください。

- ・成績証明書:卒業後 5 年間
- ・単位修得証明書:卒業後 20 年間
- ・卒業証明書:永年発行 など

14 感染症等への対応

学校は生徒が集団で過ごす場であり、そこで発生する感染症の流行を予防することは、望ましい学習環境を維持するために大切です。

法定伝染病に罹患した場合、医師の指示に従い、自宅での十分な療養をお願いします。

なお、この期間は「出席停止」の扱いとなり、欠席にはなりません。体調不良を感じるような場合は、早めの医療機関への受診をお願いします。

新型コロナウイルス感染症については、インフルエンザと同様の扱いとなりますが、これまでと同様に感染防止対策を継続していきますので、引き続き安全安心な学習環境の維持にご協力をお願いします。

については、以下の点に留意するようご協力ください。

(1) 日常の健康管理

◎健康状態の自己管理

- ①毎朝の健康チェックと風邪症状の確認
- ②登校時の検温・体調確認

◎感染経路を絶つ!

- ①手洗いや手指消毒の徹底
- ②換気の悪い密閉空間にしないために換気の徹底

◎体力・免疫力を高める!

- ①規則正しい生活(十分な睡眠・適度な運動)
- ②適切な食生活(バランスのとれた食事)

(2) 体調不良時の対応

- ①感染症が疑われる症状がある場合は、医療機関に相談・受診し、医師の指示に従うこと
- ②体調不良の場合はできるだけ外出を控え、自宅で静かに過ごすこと
- ③受診後は、すぐに夢未来高等学院に連絡してください

15 KOKORO LINE への登録（お願い）

生徒及び保護者と学校間で、学校生活に関わる情報の送受信や災害等の緊急事態に備え、迅速に伝達・連絡を行うために一斉メール配信システムを活用します。

本校では正確な情報発信と迅速な受信を行うことを目的に、連絡システム「KOKORO LINE」を導入しています。

つきましては、以下の要領で登録し、今後のスムーズな連絡体制にご協力をお願いします。

なお、登録されたアドレスは個人情報として管理し、管理者からのメール配信以外には使用いたしません。

● セキュアな環境で安心

学校の関係者以外には公開しにくい様々な情報を、特定の受信者にのみメッセージを配信することができるため、生徒や保護者が安心して受け取ることができます。登録された利用者情報は、学校からの連絡にのみ使用します。

一般的なLINEのように、他の方へアカウント名などの情報が伝わることはなく、利用者間で「知り合いかも？」や「友だちリスト」に表示されることはございません。

● 利用料金など

- ・本ツールの利用料は、授業料に含まれます。在学中にご利用いただけます。
- ・メッセージの受信にかかる通信費用やネット契約は、ツール利用者のご負担となります。予めご了承ください。
- ・ご利用の端末においては、LINEアプリのダウンロード・インストールが必要です。

● KOKORO LINE 導入方法

校舎名・生徒氏名など該当する情報を登録することで、所属先の情報を適切に受信することができます。

- ①ブラウザにて右の二次元バーコード（または下記URL）を読み取り、仮登録画面を表示してください。

<https://kokoromirai.net/renraku/entry/form>

- ②登録画面の項目を入力後、「登録申請する」ボタンをクリックしてください。
本母校で内容を確認後、正式な登録を行います。



資料編

| | | |
|---|----------------------|----------|
| 1 | 各科目の学習内容と目標(一覧) | 資料 1-16 |
| 2 | 各科目のスクーリング時数とレポート枚数 | 資料 17 |
| 3 | 各科目のレポート提出期限 | 資料 18 |
| 4 | 各科目の放送視聴提出期限 | 資料 19-20 |
| 5 | スクーリング・単位認定試験についての案内 | 資料 21-23 |
| 6 | 特別活動についての案内 | 資料 24-25 |
| 7 | 事務連絡について映像対応の案内 | 資料 26-34 |
| 8 | こころ未来高等学校スクールポリシー | 資料 35 |
| 9 | 夢未来高等学院展開マップ | 資料 36 |

Ⅰ 各科目ごとの学習内容と目標

(新課程)「現代の国語」

| | | 学習の内容 | 学習の目標 |
|----|------|-------------|---|
| 前期 | 第1回 | ・ルリボシカミキリの青 | 全体の構成を捕えて、物語の展開を理解する |
| | 第2回 | ・ルリボシカミキリの青 | ・筆者の少年時代の体験について書かれた文章を読み、自分の人生について考える |
| | 第3回 | ・未来をつくる想像力 | ・情報と想像力の関係を論じた文章を読み、意見の根拠を的確に理解して筆者の主張をつかむ |
| | 第4回 | ・未来をつくる想像力 | ・情報の過多と想像力の関係を考える |
| | 第5回 | ・水の東西 | ・「水」を巡る日本と西洋の文化の比較を通じて、日本文化の特質について理解を深める |
| | 第6回 | ・水の東西 | ・鹿威しと噴水の違いに着目する |
| 後期 | 第7回 | ・鍋洗いの日々 | ・自分の道を切り開いた筆者の体験談から、仕事に対する思いを読み取る |
| | 第8回 | ・鍋洗いの日々 | ・「社会とかかわる」というテーマで、人生の先輩たちのいきかたを参考にし、これからの糧にする |
| | 第9回 | ・美しさの発見 | ・「美」という抽象的な題材について論じた文章を読み、その展開を論理的に捉え、筆者の価値観を理解する |
| | 第10回 | ・美しさの発見 | ・現代における人間の生活と技術の問題を理解する |
| | 第11回 | ・真の自立とは | ・現代社会における「できる」「できない」の構造とそれが人生に及ぼしている影響について読み取る |
| | 第12回 | ・真の自立とは | ・「自立」の在り方について考察する文章を読み、自分の考えをもち、視野を広げる |

(新課程)「言語文化」

| | | 学習の内容 | 学習の目標 |
|----|-----|-------------------|--|
| 前期 | 第1回 | ・さくらさくら | ・読むことにおいて、文章の種類を踏まえて、内容・構成・展開などについて叙述をもとに的確に捉える |
| | 第2回 | ・とんかつ | ・本文に描かれた出来事や会話、行動の描写を捕え、学習課題に沿って、登場人物の心情とその変化を読み取り、主題について考える |
| | 第3回 | ・短歌・俳句 | ・短歌・俳句の特徴や表現効果を理解し、課題に沿ってそれぞれの歌・俳句に込められた情景や心情を読み取る |
| | 第4回 | ・i was born | ・散文詩を読み味わい、詩や題名に込められた作者の思いを理解する |
| | 第5回 | ・古文に親しむ | ・有名な古文の一部分を読むことで、日本人のものの見方・考え方の一端に触れ、名文を味わう |
| | 第6回 | ・児の空寝 ・亀山殿の御池に | ・古文の仮名遣いに注意しながら音読する ・古語に慣れながら話の面白さを理解する ・兼好法師の考えを理解する |
| | 第7回 | ・羅生門① | ・小説の登場人物を通して、極限状況に追いつめられた人の揺れ動く感情や生きることを考える |
| | 第8回 | ・羅生門② | ・現実にはあり得ない物語を通して、想像力の豊かさを学ぶ |

| | | | |
|----|------|-------------|---------------------------------------|
| 後期 | 第9回 | ・折々の歌 | ・日本の伝統である和歌の世界に触れ、日本人の美意識や自然観を理解する |
| | 第10回 | ・奥の細道 | ・江戸時代の名文を読み、いかなる思いで東北への旅を思い立ったのか理解する |
| | 第11回 | ・訓読の基本 故事成語 | ・訓読の決まりを理解し、漢文や故事成語を読めるようにし、言葉の幅を広くする |
| | 第12回 | 格言・論語 | ・人の在り方・人間の生き方を考えさせる「論語」を読んで、古人の知恵に触れる |

(旧課程)「現代文 A」

| | | 学習の内容 | 学習の目標 |
|----|-----|------------|--|
| 前期 | 第1回 | ・こころ1 | ・長い文章を時間の経過に従って内容を整理しながら読む ・人間関係における人物の心情を的確に把握する |
| | 第2回 | ・こころ2 | ・「私」の利己心がどのように表れているか読み取る |
| | 第3回 | ・こころ3 | ・「私」とKの心のすれ違いをとおして、自己と他者との関係を考える |
| 後期 | 第4回 | ・山椒魚 | ・山椒魚や蛙の心情を理解しつつ、現代社会に生きる私たちが抱える問題について考える |
| | 第5回 | ・ナイン | ・小説の時代背景を想像しつつ、登場人物の人間関係と心情を読み取る |
| | 第6回 | ・豊かさと生物多様性 | ・論の展開に注意して読み、生物多様性の重要性と課題について理解する |

(旧課程)「世界史 A」

| | | 学習の内容 | 学習の目標 |
|----|-----|---|---|
| 前期 | 第1回 | ・ユーラシアの諸地域世界 | ・ユーラシア諸地域の気候・風土、特徴的な生活文化や宗教を理解する ・古代オリエント文明、イスラーム文明、古代地中海世界がどのように形成されたかを学び、それぞれの文化的特徴について理解する |
| | 第2回 | ・アジア諸帝国の繁栄と東アジア ・ヨーロッパとアメリカの諸革命 | ・古代中国やインドがどのように形成され、繁栄していたか考える ・主権国家体制の形成と絶対王政や議会王政の誕生について理解する ・啓蒙思想とアメリカ独立革命、フランス革命が世界に及ぼした影響を考える |
| | 第3回 | ・産業革命と世界市場の拡大 ・ヨーロッパの動乱の波及 ・産業化社会の拡大と成熟 | ・市民革命により経済体制が変化し、産業革命ともあいまって、世界の国々に波及していく過程を理解する ・産業革命以降、イギリスを中心に世界経済秩序が成立し、経済力・軍事力を背景に、新たな世界秩序を形成していく過程を理解する |
| | 第4回 | ・アジア諸国の変貌と日本 ・帝国と民族の時代 | ・高い経済力と軍事力を有するヨーロッパの国々がアジア地域の植民地化を進めるなか、アジア諸国の国際秩序が変化していく過程を理解する ・科学技術の発展に支えられた列強による植民地獲得競争の激化に対し、多様な民族運動が起こり、国家 |

| | | | |
|--|-----|------------------------------|---|
| | | | 間の分断と対立が進んで行く過程を理解する |
| | 第5回 | ・二つの世界大戦の時代 | ・国家総動員の戦争となった第一次世界大戦がどのようにして起こり、どのように第二次世界大戦へと突き進んでいったのか、二つの戦争がもたらした影響と戦争の終結までの道筋について理解する |
| | 第6回 | ・冷戦と民族独立の時代 ・グローバル化のなかの危機 | ・第二次世界大戦後の社会秩序がどのように形成されていったのかを学び、現代につながる重要な諸課題の原因を理解するとともに、解決につながる方法を考える |

(新課程)「地理総合」

| | | 学習の内容 | 学習の目標 |
|----|-----|---------------------------------|--|
| 前期 | 第1回 | ・地図と地理情報システム ・結び付きを深める現代社会 | ・地図の役割や有用性を理解し、地図や GPS の活用方法について考える ・国際社会における国家の役割を理解し、地域間のさまざまな相互関係について考える |
| | 第2回 | ・生活文化の多様性と国際理解 ・世界の気候と人々の生活 | ・地形が、人々の生活に与える影響を考える ・気温や降水、風などの気候要素が人々の生活に与える影響を考える |
| | 第3回 | ・世界の言語・宗教と人々の生活 ・歴史的背景と人々の生活 | ・言語や宗教が人々の生活に与える影響について考える ・さまざまな歴史的背景が人々の生活に与える影響について考える |
| 後期 | 第4回 | ・世界の産業と人々の生活 | ・産業の発展が、人々の生活にどのような影響を与えているか考える |
| | 第5回 | ・地球的課題と国際協力 | ・他地域との結び付きや地域の特徴などに着目しながら、持続可能な社会をつくるためにどのような取組が必要か考える |
| | 第6回 | ・自然環境と防災 | ・人間と自然の関わりや地域の特徴に着目して、災害に強い地域づくりについて考える |

(新課程)「歴史総合」

| | | 学習の内容 | 学習の目標 |
|----|-----|---------------------------|---|
| 前期 | 第1回 | ・近代化への問い ・結びつく世界と日本の開国 | 交通と貿易、産業と人口、権利意識と政治参加や国民の義務などに関する資料を活用し、近代化に伴う生活や社会の変容について多面的・多角的に考察し、問いを表現する |
| | 第2回 | ・国民国家と明治維新 | 国民国家の形成の背景や影響などに着目して、国家の特徴や社会の変容などを多面的・多角的に考察し立憲制と国民国家の形成を理解する |
| | 第3回 | ・第一次世界大戦と大衆社会 | 第一次世界大戦前後の社会の変化などに着目して、第一次世界大戦後の社会の変容と社会運動との関連などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、大衆社会の形成と社会運動の広がりを理解する |
| | 第4回 | ・経済危機と第二次世界大戦 | 経済危機の背景と影響、国際秩序や政治体制の変化などに着目して、各国の世界恐慌への対応の特徴、国際協調体制の動揺の要因などを多面的・多角的に考 |

| | | | |
|----|-----|-------------|---|
| 後期 | | | 察し、表現することを通して、国際協調体制の動揺を理解する |
| | 第5回 | ・冷戦と世界経済 | 冷戦が各国経済に及ぼした影響、地域連携の背景と影響、日本の高度経済成長の背景と影響などに着目して、冷戦下の世界経済や地域連携の特徴、経済成長による生活や社会の変容などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、世界経済の拡大と経済成長下の日本の社会を理解する |
| | 第6回 | ・世界秩序の変容と日本 | 冷戦の変容と終結の背景、民主化や地域統合の背景と影響、地域紛争の拡散の背景と影響などに着目して、冷戦終結後の国際政治の特徴と日本の役割などを多面的・多角的に考察し、表現することを通して、冷戦終結後の国際政治の変容と課題を理解する |

(新課程)「公共」

| | | 学習の内容 | 学習の目標 |
|----|-----|---|--|
| 前期 | 第1回 | ・公共的な空間における人間としての在り方生き方 | ・私たちのものの考え方はどのように伝統・文化と関わっているか考察する ・先哲の思想に学び、人間の在り方生き方について思索を深める |
| | 第2回 | ・公共的な空間における基本的原理-ともに生きるための倫理 ・民主政治と私たち | ・日本国憲法の基本原理を学び、人権保障の意義について理解する ・地方自治・国会・内閣の仕組みと役割について学び、選挙に参加することの意義を考える |
| | 第3回 | ・法の働きと私たち | ・法と社会規範の役割、市民生活と私法、司法の仕組みと役割について学び、どのようにして社会秩序が維持されているか理解する |
| 後期 | 第4回 | ・経済社会で生きる私たち | ・市場を公正かつ効率的に機能させるにはどのような規制が必要か考える ・社会を豊かにするために金融が果たす役割を考える ・財政の持続可能な運営について課題と解決策を考える |
| | 第5回 | ・私たちの職業生活 ・国際社会のルールとしくみ ・国際社会と平和主義 | ・職業選択をとおして自己実現や社会参加の在り方について考える ・国際社会の課題を解決するためのルールについて考える ・国際社会の平和と安全を実現するために必要なことを考える |
| | 第6回 | ・国際平和への課題 ・持続可能な社会づくりに参画するために | ・現代の国際平和への課題を捉え、国際社会の役割を考察する ・持続可能な社会づくりの主体となるために、課題解決に向けて他者と協働して考察、構想し自らの考えを積極的に提案する |

(新課程)「政治・経済」

| | | 学習の内容 | 学習の目標 |
|----|-----|------------------------------|---|
| 前期 | 第1回 | ・民主政治の基本原理 ・日本国憲法の基本原理 | ・法や人権、少数派などの観点に着目し、よりよい民主政治を実現するためにはどのようなことが必要か多面的、多角的に考える |
| | 第2回 | ・日本の政治機構 ・現代政治の特質と課題 | ・国会、内閣、裁判所、地方自治それぞれで行われた改革に着目し、日本の政治機構にはどのような課題があるのかを考える |
| | 第3回 | ・現代の資本主義経済 ・現代社会のしくみ | ・企業、市場経済、国民所得、金融、財政などの観点に着目し、現代の経済はどのようなしくみであるのか、どのような課題を抱えているのかを考える |
| 後期 | 第4回 | ・日本経済の発展と現状 ・福祉社会と日本経済の課題 | ・日本の経済や社会が抱える諸課題の解決に向けて自分には何ができるか多面的・多角的に考える |
| | 第5回 | ・国際政治のしくみ ・複雑化する国際政治と日本 | ・現代日本の課題や多様な働き方・生き方の実現、持続可能な食料・農業の実現、防災と安全・安心な社会の実現について取り上げた課題の解決に向けて政治と経済とを関連させて考える |
| | 第6回 | ・国際経済と国際経済 ・世界経済の現状と課題 | ・グローバル化にともなう社会変容、地球環境と資源・エネルギー問題、国際的な経済格差の是正、持続可能な社会の実現について取り上げた課題の解決に向けて政治と経済を関連させて考える |

(旧課程)「政治・経済」

| | | 学習の内容 | 学習の目標 |
|----|-----|-------------------------------|--|
| 後期 | 第1回 | ・民主政治の基本原理 ・日本国憲法の基本原理 | ・民主政治の歴史を学び、現代の民主主義の特徴を理解する ・日本国憲法の成立過程や内容を理解し、自由権、社会権、新しい人権等について理解する |
| | 第2回 | ・日本の政治機構 ・現代政治の特質と課題 | ・三権分立の考え方について知り、それぞれの役割や仕組みを理解する ・日本の選挙制度の歴史と現状を学び、国民の政治意識を理解する |
| | 第3回 | ・現代の国際政治 ・現代の資本主義経済 | ・国際連盟の役割と課題を理解し、核軍縮運動の流れについて理解する ・資本主義経済の特徴とその発展の歴史について学ぶ |
| | 第4回 | ・現代経済の仕組み ・日本経済の発展と産業構造の変化 | ・経済活動の流れを学び、需要と供給、通貨と金融の役割、金融政策について理解する ・高度経済成長の原因やその後の産業構造の高度化、バブル後の経済について理解する |
| | 第5回 | ・福祉社会と日本経済の課題 ・国民経済と国際経済 | ・公害の原因と公害対策、消費者問題や農業の現状、労働問題などについて考える ・自由貿易をめぐる現状の課題について考える |
| | 第6回 | ・日本社会の諸課題 ・国際社会の諸課題 | ・日本社会の諸課題や国際社会の諸課題について考察する |

(新課程)「数学 I」

| | | 学習の内容 | 学習の目標 |
|----|------|---------------------------------|--|
| 前期 | 第1回 | 数の計算 1. 整数の計算 | ・基本的な整数の四則演算ができる ・素因数分解、公倍数、公約数の意味を理解し、求めることができる |
| | 第2回 | 数の計算 2. 小数、分数の計算 3. 計算の利用 | ・小数、分数の四則演算ができる ・割合(百分率や歩合)を理解し問題を解くことができる ・単位の変換ができる ・概数を求めることができる |
| | 第3回 | 数の計算 4. 正負の計算 | ・基本的な正負の数の四則演算ができる ・絶対値の意味が分かる |
| | 第4回 | 1章 数と式 1節 文字と式 | ・整式の加法・減法, 指数法則, 整式の乗法, 多項式の乗法公式などの基本的な計算ができる ・指数法則, 単項式の乗法について理解し, 整式を展開することができる ・展開公式と関連させて, 因数分解の公式が利用できる |
| | 第5回 | 1章 数と式 2節 実数 | ・根号を含む式の基本的な計算をすることができる。また, 分母の有理化について理解する ・自然数, 整数, 有理数, 無理数の意味がわかり, 実数について理解する |
| | 第6回 | 1章 数と式 3節 方程式と不等式 | ・1次方程式について理解し, 1次方程式を解くことができる ・不等号の意味を理解し, 数量の大小関係を不等式で表すことができる ・不等式を調べることによって, 不等式の性質を理解する ・不等式の性質を用いて不等式を変形し, 解くことができる ・2次方程式について理解し, 平方根の考え, 因数分解, 解の公式を用いて2次方程式を解くことができる |
| 後期 | 第7回 | 2章 2次関数 1節 2次関数とそのグラフ | ・関数の概念の理解を確実にし, また, 1次関数のグラフをかくことができる ・2乗に比例する関数の性質を復習し, それをもとに順次, 2次関数について理解する。また, 2次関数 $y = ax^2 + bx + c$ を $y = a(x-p)^2 + q$ の形に変形し, そのグラフを利用できる |
| | 第8回 | 2章 2次関数 2節 2次関数の値の変化 | ・2次関数の最大・最小について理解を深め, 定義域に応じて, 最大値や最小値を求めることができる ・2次不等式をグラフを利用して解くことができる |
| | 第9回 | 3章 三角比 1節 鋭角の三角比 | ・正接, 正弦, 余弦の意味を理解する。また, $30^\circ, 45^\circ, 60^\circ$ の三角比の値を求めることができる ・三角比の相互関係について理解する |
| | 第10回 | 3章 三角比 2節 三角比の応用 | ・与えられた辺の長さや角の大きさから, 三角形の面積を求めることができる ・正弦定理・余弦定理を理解するとともに, 図形の計量の際に有効に活用することができる |
| | | 4章 データの分析 | ・度数分布表, ヒストグラム, 相対度数分布表に表すこ |

| | | | |
|--|------|------------------------|--|
| | 第11回 | 1 節 データの分析 | とができ、データを整理する ・中央値をもとにした四分位数、四分位範囲を理解する。また、それを箱ひげ図に表すことができる ・表やグラフ、代表地を用いてデータの考察ができる |
| | 第12回 | 5 章 集合と論証 1 節 集合と論証 | ・部分集合、全体集合、補集合、共通部分、和集合の意味を理解する ・必要条件、十分条件、必要十分条件、対偶の意味を理解する |

(新課程)「数学 A」

| | | 学習の内容 | 学習の目標 |
|----|-----|--|---|
| 前期 | 第1回 | 1 章 場合の数と確率 1 節 場合の数 | ・和の法則、積の法則が成り立つのはどのような場面なのかを理解し、樹形図も利用しながらその総数を求めることができる ・順列の意味を理解し、その総数 nPr や階乗の計算ができる。また、円順列や重複順列について学習し、順列を使ったさまざまな考え方ができる |
| | 第2回 | 1 章 場合の数と確率 1 節 場合の数 | ・組合せの意味を理解し、その総数 nCr を、順列との関係によって求める筋道を示し、一般の場合の組合せの総数を求める公式を導くことができる ・ $nCr = nCn-r$ が成り立つことを理解し、工夫して要領よく計算する ・組合せの考え方をを用いた応用問題を理解する |
| | 第3回 | 1 章 場合の数と確率 2 節 確率 | ・試行と事象、事象の確率について学び、確率の意味を知り、不確定な事象を数量的にとらえることの有用性を認識する |
| 後期 | 第4回 | 1 章 場合の数と確率 2 節 確率 | ・独立な試行の確率について、具体例を通してその意味を理解する ・反復試行の確率を理解する。このとき、組合せを用いることを理解する |
| | 第5回 | 2 章 図形の性質 1 節 平面図形の基礎 2 節 三角形の性質 3 節 円の性質 4 節 空間図形 | ・三角形の重心・外心・垂心・内心の存在とその証明を理解する。また、外接円、内接円との関係を理解する ・円の基本性質と円周角の定理及び定理の逆を理解し、角度や線分の長さを求めたり、照明したりすることができる ・円に内接する四角形の定理と四角形の内接条件の定理を理解し、活用しながら図形に対する直観力・洞察力を養う |
| | 第6回 | 3 章 数学と人間の活動 1 節 数や位置を表す 2 節 数のつくりを調べる 3 節 はかる 4 節 数学で遊ぶ | ・漢数字による記数法について理解する ・10 進法、2 進法の数の表し方のしくみを調べ、法則を見つけることができる。また、2 進法と 10 進法の変換を行うことができる。 ・平面上の点の位置を表す座標の考え方を理解する ・約数、倍数、素数、素因数分解などの整数に関する基本的概念について理解し、約数、倍数を求めたり、素因数分解したりすることができる ・体積や重さの単位を調べることできる |

(旧課程)「数学Ⅱ」

| | | 学習の内容 | 学習の目標 |
|----|------|---|--|
| 前期 | 第1回 | 3次の乗法公式と因数分解 二項定理、分数式とその計算 | ・3次式の展開と因数分解の公式を用いた解き方を学ぶ |
| | 第2回 | 複素数、2次方程式、解と係数の関係 | ・複素数により2次方程式が解けることを理解する |
| | 第3回 | 整式の除法、因数定理、高次方程式、等式の証明 | ・因数定理を用いて因数分解や高次方程式が解けることを理解する ・等式や不等式を証明することにより、筋道を立てて問題を解決する |
| | 第4回 | 直線上・平面上の点の座標、直線の方程式、2直線の関係 | ・座標を用いて、直線や平面上の位置を考える ・座標平面上の直線を方程式で表す |
| | 第5回 | 円の方程式、円と直線、不等式の表す領域、連立不等式の表す領域 | ・直線や円などの基本的な平面図形の性質や関係を数学的に表現する ・不等式を満たす点の集合が座標平面上の領域を表すことを理解する |
| | 第6回 | 三角関数、三角関数の相互関係、三角関数のグラフ、加法定理 加法定理の応用、弧度法 | ・三角関数のグラフをかくことにより、周期性について理解する ・加法定理を理解し、2倍角の公式を導く ・弧度法による角度の表し方を学ぶ |
| 後期 | 第7回 | 指数の拡張、累乗根、指数関数とそのグラフ | ・指数を有理数まで拡張して考え、そのグラフについて考察する |
| | 第8回 | 対数の性質、対数関数とそのグラフ、常用対数 | ・対数は指数の逆の計算であることを理解する ・対数のグラフについて考察する |
| | 第9回 | 平均変化率、微分係数、導関数 接線 | ・微分の計算を学び、微分を利用して関数のグラフがかけることを理解する |
| | 第10回 | 関数の増加・減少、関数の極大・極小、関数の最大・最小 | ・微分が日常のいろいろな場面で利用されている有用性を知る |
| | 第11回 | 不定積分 | ・積分は、微分の逆の計算であることを理解する |
| | 第12回 | 定積分、面積 | ・定積分によりいろいろな図形の面積が求められることを知る |

(新課程)「科学と人間生活」

| | | 学習の内容 | 学習の目標 |
|----|-----|------------------------|---|
| 前期 | 第1回 | 生命の科学 ・微生物とその利用 | ・さまざまな微生物の存在とその働き、そして人間生活とのかかわりについて学ぶ |
| | 第2回 | 物質の科学 ・材料とその再利用 | ・金属やプラスチックの性質や用途、そしてこれらの資源の再利用について学ぶ |
| | 第3回 | 物質の科学 ・衣料と食品 | ・さまざまな繊維とその性質や用途、食品中のおもな成分やその性質について学ぶ |
| 後期 | 第4回 | 光や熱の科学 ・光の性質とその利用 | ・身の回りにある光の性質を利用した事例をもとに、光の性質と人間生活とのかかわりについて学ぶ |
| | 第5回 | 光や熱の科学 ・熱の性質とその利用 | ・安全に、快適に、効率的に熱を利用するために、熱の性質と人間生活とのかかわりについて学ぶ |
| | 第6回 | 宇宙や地球の科学 ・自然景観と自然災害 | ・自然景観の成り立ちやさまざまな自然災害とその対策について学ぶ |

(新課程)「生物基礎」

| | | 学習の内容 | 学習の目標 |
|----|-----|--|---|
| 前期 | 第1回 | 生物の特徴 ・生物の多様性と共通性 | ・祖先を共有する生物には共通性があり、なおかつ多様性があることを見出す |
| | 第2回 | 生物の特徴 ・生物とエネルギー | ・生命活動におけるエネルギーや ATP の利用について理解する |
| | 第3回 | 遺伝子とそのはたらき ・遺伝情報と DNA ・遺伝情報とタンパク質の合成 | ・生物の形質は、遺伝情報によって決まることを見出す ・DNA の構造や塩基の結合について理解する |
| 後期 | 第4回 | ヒトの体の調節 ・ヒトの体を調節する仕組み | ・体内環境を一定に保つために恒常性がはたらくことを見出す ・恒常性にはさまざまな器官が関係していることを知る |
| | 第5回 | ヒトの体の調節 ・免疫のはたらき | ・ヒトの体において複数ある免疫と、そのはたらきについて理解する |
| | 第6回 | 生物の多様性と生態系 ・植生と遷移 ・生態系と生物の多様性 | ・身のまわりのさまざまな環境における植生を確認する ・身のまわりにいる生物の生態系や多様性について理解する |

(旧課程)「化学基礎」

| | | 学習の内容 | 学習の目標 |
|----|-----|----------------------|--|
| 前期 | 第1回 | 物質の構成 ・物質の成分と構成元素 | ・物質を構成している基本的な成分について学ぶ ・物質の三態と状態間の変化について学ぶ |
| | 第2回 | ・原子の構造 ・電子配置と周期表 | ・原子の構造、原子の元素配置について学ぶ ・元素の周期表の意味について理解する |
| | 第3回 | 物質の構成 ・化学結合 | ・原子、分子、イオンがどのように結合しているか理解する |
| 後期 | 第4回 | 物質の変化 ・物質と化学反応式 | ・原子、分子を集団として扱う物質(モル)について理解する ・化学反応式の意味を理解する |
| | 第5回 | 物質の変化 ・酸と塩基 | ・酸や塩基の性質や中和反応および、その量的関係について理解する |
| | 第6回 | 物質の変化 ・酸化還元反応 | ・酸化還元反応を電子の授受に基づいて理解するとともに、その応用例として電池や電気分解について学ぶ |

(新課程)「体育」

| | | 学習の内容 | 学習の目標 |
|-----|-----|--------------------------------------|--|
| I 前 | 第1回 | ・スポーツの始まりと変遷 ・文化としてのスポーツ | ・スポーツの意義や歴史、文化的特徴について学ぶ |
| | 第2回 | ・オリンピックとパラリンピックの意義 ・スポーツが経済に及ぼす効果 | ・オリンピックとパラリンピックの意義や価値について学ぶ ・スポーツが経済活動でどのように重要な役割を果たしているかを考える |
| I 後 | 第3回 | ・スポーツの高潔さとドーピング ・スポーツと環境 | ・スポーツの高潔さを脅かす原因と、ドーピングの破壊行為について学ぶ ・スポーツがどう環境と調和していけばよいか考える |
| 2 前 | 第4回 | ・スポーツにおける技能と体力 ・スポーツにおける技術と戦術 | ・スポーツにおける技能と体力の関係について学ぶ ・用具の改良やメディアの発達などによる技術や戦術、 |

| | | | |
|--------|-----|--|---|
| | | ・技能の上達過程と練習 | ルールの変化について学ぶ |
| 2 後 | 第5回 | ・効果的な動きのメカニズム ・体カトレーニング | ・目的に応じたさまざまなトレーニングの方法を学ぶ ・筋力、持久力、調整力、柔軟性を高める具体的なトレーニング法を学ぶ |
| 3 前 | 第6回 | ・運動やスポーツでの安全の確保 | ・スポーツ外傷・障害とその原因について学ぶ ・スポーツ活動中に起きる重大な事故の発生原因と予防方法を考える |
| 3 後 | 第7回 | ・生涯スポーツの見方・考え方 ・スポーツを推進する取組 ・豊かなスポーツライフの創造 | ・ライフステージに対応したスポーツの楽しみ方を考える ・日本のスポーツ推進の歩みと地域におけるスポーツ推進の取組を考える ・豊かなスポーツライフを創造していくための課題について考える |

(旧課程)「体育」

| | | 学習の内容 | 学習の目標 |
|--|-----|--|--|
| | 第1回 | ・スポーツの始まりと変遷 ・スポーツルールの変容 | ・スポーツの意義や歴史について学ぶ ・どうしてルールが変わっていくのか考える |
| | 第2回 | ・文化としてのスポーツ ・オリンピックと国際理解 | ・スポーツの文化的特徴について学ぶ ・さまざまな違いをこえて、世界の人々が集うオリンピックの意味を考える |
| | 第3回 | ・スポーツと経済 ・ドーピングとスポーツ倫理 ・スポーツの技術と戦術 ・球技の型と戦術の特徴 ・技能の上達過程と練習 | ・スポーツが経済に大きな影響を及ぼしていることを学ぶ ・ドーピングの始まりと歴史、撲滅運動やスポーツ倫理について学ぶ ・スポーツの技術と戦術、技能の上達過程と効果的な練習法について学ぶ |
| | 第4回 | ・効果的な動きのメカニズム ・技能と体力 | ・運動・スポーツにおける技能と体力の関係について学ぶ ・スポーツにおける技能と体力の関係について学ぶ |
| | 第5回 | ・体カトレーニング | ・目的に応じたさまざまなトレーニングの方法を学ぶ ・筋力、持久力、調整力、柔軟性を高める具体的なトレーニング法を学ぶ |
| | 第6回 | ・運動やスポーツでの安全の確保 | ・運動やスポーツによるけがの実態について学ぶ |
| | 第7回 | ・生涯スポーツの見方・考え方 ・ライフスタイルに応じたスポーツ | ・各ライフステージにおける身体的、心理的、社会的特徴に応じたスポーツの楽しみ方を考える ・「マイスポーツライフ」を考える |

(新課程)「保健」

| | | 学習の内容 | 学習の目標 |
|--------|-----|--|--|
| 1 後 | 第1回 | 現代社会と健康 ・健康の考え方と成り立ち～ ・休養・睡眠と健康 | ・健康についての多様な考え方や、健康の成り立ちとその要因を学ぶ ・生活習慣病やがんの種類と要因、予防、治療について学ぶ ・運動・食事・休養・睡眠と健康との関係について考える |
| | 第2回 | 現代社会と健康 ・喫煙と健康～性感染症・エイズとその予防 | ・喫煙、飲酒、薬物乱用、精神疾患、感染症、性感染症・エイズの問題が、個人や社会的に及ぼす影響や現状を理解し、自らが予防・防止することについて学ぶ |
| | 第3回 | 安全な社会生活 ・事故の現状と発生原因～心肺蘇生法 | ・事故の実態と被害の実態、安全のために必要な個人の行動を学ぶ ・交通事故防止における個人の取組と交通環境の整備について学ぶ ・日常的なけがや熱中症の応急手当、心肺蘇生法について学ぶ |
| 2 後 | 第4回 | ・生涯を通じる健康 ・ライフステージと健康～避妊法と人工妊娠中絶 | ・思春期における体の変化、心の発達に関わって起こる問題について学ぶ ・性意識の男女差、性情報が性行動の選択に及ぼす影響を考える ・家族計画の意義と適切な避妊法、人工妊娠中絶が心身に及ぼす影響について考える |
| | 第5回 | ・生涯を通じる健康 ・結婚生活と健康～健康的な職業生活 | ・結婚生活を健康的に送るために必要な考え方や行動を学ぶ ・高齢社会に必要な社会的取組(保険・医療・福祉制度など)を学ぶ ・働き方と健康問題の変化について学び、余暇の確保の意義を理解する |
| | 第6回 | 健康を支える環境づくり ・大気汚染と健康～健康に関する県境づくりと社会参加 | ・環境・食品と健康との関係を学ぶとともに、社会全体の健康を高めるために、一人一人が環境づくりに積極的に参加する意義やその方法について学ぶ |

(新課程)「美術Ⅰ」

| | | 学習の内容 | 学習の目標 |
|----|-----|-------------|---|
| 前期 | 第1回 | ・絵画・彫刻 | ・身近にあるものを見つめなおし、描く方法や材料を工夫して表す ・さまざまな作品を鑑賞し、それぞれの作品にこめられた思いを味わうとともに、表現の豊かさやおもしろさを感じとる |
| | 第2回 | ・さまざまな絵の具／色 | ・色の性質を学び、色の効果に気づいて、表現や生活の中で生かす ・鉛筆や色鉛筆などの素描材料の使用法を学び、異なる質感を工夫して静物を描く |
| | 第3回 | ・美術史 | ・日本や世界の美術史からそれぞれの時代の作品の特徴を理解する ・800年前の4体の仏像を鑑賞し、それぞれの仏像に込められた思いや願いを感じとり、今の自分の自画像を描いてみる |
| 後期 | 第4回 | ・デザイン | ・伝えたい内容にふさわしい表現方法を考え、多くの人に伝わるようにデザインを工夫する |
| | 第5回 | ・映像メディア表現 | ・表情や動きに注目したり、被写体との距離感を意識したりして、身近な人の姿を写真で表す ・作品を細部まで鑑賞し、作者の表現の意図や工夫を感じとる |
| | 第6回 | ・デザイン史／写真史 | ・デザインの歴史は社会状況の変化に対応していることを理解する ・撮影機材の進歩の歴史とともに、各時代の写真作品を鑑賞する |

(新課程)「美術Ⅱ」

| | | 学習の内容 | 学習の目標 |
|----|-----|------------|--|
| 前期 | 第1回 | ・絵画・彫刻 | ・QRコンテンツの音声ガイドや技法動画等により、さまざまな作品を鑑賞し、表現の豊かさやおもしろさを感じとる ・身近にある花や人物像、実際に見ることが困難な美術や彫刻作品を比較し、それぞれの表現のしかた・技法を学び、自らも描いてみる |
| | 第2回 | ・表現の技法・用具 | ・漫画制作の流れや多様な作品に触れて、さまざまな表現の工夫を学ぶ ・漫画制作の主な用具や画材の名前・特性を知り、自分なりの表現で制作する |
| | 第3回 | ・さまざまな色と色調 | ・巻末のカラーガイドを利用し、色の基本の三原色から色の多様な性質を学ぶ ・いろいろなカラーの画材を使い、自分が表したいトーンでポスターを描く |
| | 第4回 | ・デザイン | ・多くの作品を鑑賞し、その作者が伝えたいメッセージを感じとる ・ピクトグラムを通じて、その目的が多くの人に伝わるようにデザインを工夫する |

| | | | |
|----|-----|-----------|---|
| 後期 | 第5回 | ・映像メディア表現 | ・多くの映像を鑑賞、比較し、作者の表現の意図や工夫を感じとる ・アニメーションの歴史を学び、自分が表現したいキャラクターを創作する |
| | 第6回 | ・写真の撮影と編集 | ・構図や光の影響など写真撮影の基本について学び、風景や被写体の見え方の違いを知る ・身近な風景や人物を対象に、自分が表現したい写真を撮影する |

(新課程)「英語コミュニケーションⅠ」

| | | 学習の内容 | 学習の目標 |
|----|------|---|--|
| 前期 | 第1回 | Warm-Up1~3 Pre-Lesson1~2 be 動詞、一般動詞 | ・アルファベットや教室でよく使われる英語表現を学習する ・be 動詞、一般動詞それぞれの用法を学習する |
| | 第2回 | Lesson1 過去形 | ・過去形の用法を学習し、過去の出来事を表現することができる |
| | 第3回 | Lesson2 現在進行形、過去進行形 | ・現在進行形の表現方法を学習し、「今していること」について表現することができる |
| | 第4回 | Lesson3 助動詞 (can, will など) | ・助動詞の意味、用法を学習する ・それぞれの助動詞の意味を理解して、表現することができる |
| | 第5回 | Lesson4 to 不定詞 | ・不定詞の用法とそれぞれの意味を学習する ・3つの意味を理解し、訳や英作文ができる |
| | 第6回 | Lesson5 動名詞 Reading1 | ・動名詞の用法、表現を学習する ・動名詞を使って、実際に楽しんだことを書くことができる |
| 後期 | 第7回 | Lesson6 受け身 | ・受け身の用法、表現を学習する ・写真の情報をもとに、受け身を使って表現することができる |
| | 第8回 | Lesson7 比較表現 | ・3つの比較表現の用法、表現を学習する ・絵を参考に、比較表現を使って自由に表現することができる |
| | 第9回 | Lesson8 現在完了 | ・現在完了の3つの用法を学習する ・現在完了を使って、自分のことを表現できるようになる |
| | 第10回 | Lesson9 現在分詞・過去分詞 | ・現在分詞、過去分詞 それぞれの意味を学習する ・現在分詞、過去分詞を使って、自分の身の回りのことを表現できる |
| | 第11回 | Lesson10 関係代名詞 | ・関係代名詞の用法、表現を学習する ・関係代名詞を使って、よりわかりやすく表現できる |
| | 第12回 | Reading2 仮定法過去 | ・物語を英語で読み、楽しむことができる ・仮定法過去の用法、表現を学習する |

(旧課程)「コミュニケーション英語Ⅱ」

| | | 学習の内容 | 学習の目標 |
|----|------|---------------------------|--------------------------------------|
| 前期 | 第1回 | Lesson1 比較表現 | ・比較表現について基本的な使い方を理解している |
| | 第2回 | Lesson2 関係代名詞 what | ・関係代名詞 what について基本的な使い方を理解している |
| | 第3回 | Lesson3 現在完了進行形 | ・現在完了進行形について基本的な使い方を理解している |
| | 第4回 | Lesson4 間接疑問文 | ・間接疑問文について基本的な使い方を理解している |
| | 第5回 | Lesson5 現在分詞、過去分詞 | ・分詞について基本的な使い方を理解している |
| | 第6回 | Lesson6 不定詞を含む表現 | ・不定詞を含む表現について基本的な使い方を理解している |
| 後期 | 第7回 | Lesson7 動詞の目的語になる if 節 | ・if 節を含む表現について基本的な使い方を理解している |
| | 第8回 | Lesson8 補足説明をする関係代名詞 | ・関係代名詞 who, which について基本的な使い方を理解している |
| | 第9回 | Lesson9 関係副詞 | ・関係副詞 where when について基本的な使い方を理解している |
| | 第10回 | Lesson10 知覚動詞 | ・知覚動詞について基本的な使い方を理解している |
| | 第11回 | Lesson11 使役動詞 | ・使役動詞について基本的な使い方を理解している |
| | 第12回 | Lesson12 分詞構文 | ・分詞構文について基本的な使い方を理解している |

(新課程)「家庭基礎」

| | | 学習の内容 | 学習の目標 |
|----|-----|--|---|
| 前期 | 第1回 | 家族・社会との共生 第1章 生涯を見通す 第2章 人生をつくる 第3章 子どもと共に育つ | ・生涯発達の視点からライフステージの特徴と課題を理解する ・家族・家庭と私たちの生活の結びつきを理解し、社会制度としての家族や家庭について考える ・職業労働と家事労働の違いを理解し、見直される性別役割分業意識を自分自身にも関わることと意識する |
| | 第2回 | 家族・社会との共生 第4章 超高齢社会を共に生きる 第5章 共に生き、共に支える 生活の自立 第6章 食生活をつくる | ・誰もが生涯を通して自分の力を生かし、必要に応じて援助を得ながら安心して暮らせる社会に向けて、家族・家庭生活を支える福祉について理解する ・よりよい食習慣を身につけ、生涯を健康に過ごすために、食生活の課題や食事の意義、食生活を取り巻く環境の変化などを理解する |
| 後期 | 第3回 | 生活の自立 第7章 衣生活をつくる 第8章 住生活をつくる | ・被服表示を参考にして目的に応じた被服入手と着装について考えられる力を身につけるために、被服の材料や性能、加工について科学的に理解する ・環境に配慮した衣生活について考え、実践できる力を身につけるために、被服の洗濯や保管方法を科学的に理解する ・持続可能な社会の構築に向け、毎日の生活でできることを取り組むことができる ・持続可能な住宅や、自助・共助・公助に基づく地域コミュニティづくり、まちづくりの担い手になるために、環境に配慮した住生活について理解する |
| | 第4回 | 生活の自立 | ・自立した消費者として適切に意思決定を行う |

| | | |
|--|---|---|
| | 第9章経済生活を営む 第10章持続可能な生活を営む 生活の創造 第11章これからの生活を創造する | <ul style="list-style-type: none"> ・生涯を見通して経済生活をマネジメントする力を身につける ・持続可能な社会の構築に向け、毎日の生活のできることを取り組むことができる ・人生の目標設定を達成し、自分らしい生活が実現できるよう生活設計をすることができる ・これから持続可能な社会を構築していくために、何ができるか考えて行動できる |
|--|---|---|

(新課程)「情報Ⅰ」

| | | 学習の内容 | 学習の目標 |
|----|-----|---|---|
| 前期 | 第1回 | 情報で問題を解決する ①情報とメディアの特性～ ⑩よりよい情報社会へ | <ul style="list-style-type: none"> ・問題解決のプロセスを理解し、問題解決のために情報技術を活用することが有効であることが分かる ・情報モラルについて学び、個人情報や著作権の重要性を理解する ・より良い情報社会を築くために、気を付けることを考える |
| | 第2回 | 情報を伝える ②コミュニケーション手段の変化～ ⑳情報デザインの流れ | <ul style="list-style-type: none"> ・数値と文字、音と画像、色と動画のデジタル表現について理解する ・ユニバーサルデザインについて理解し、生活に生かそうとする ・情報デザインの方法、情報の抽象化・可視化・構造化を理解する |
| 後期 | 第3回 | コンピュータを活用する ②コンピュータとは何か～ ⑳シミュレーションの活用 | <ul style="list-style-type: none"> ・プログラム言語の種類やソフトウェアのしくみを理解する ・プログラムの基本構造を知り、発展的なプログラム作成について学ぶ ・表計算ソフトウェアなどの利用してシミュレーションすることができる |
| | 第4回 | データを活用する ③ネットワークとインターネット～ ④④目的に合わせたデータの利用 | <ul style="list-style-type: none"> ・インターネットのしくみやサービスを利用するしくみを理解し、正しく活用する方法や安全に利用する方法を理解する ・データベースの活用や問題解決のためのデータ収集、分析、目的に合わせたデータの利用について学ぶ |

(新課程)「高校国語入門」

| | | 学習の内容 | 学習の目標 |
|----|-----|---|---|
| 前期 | 第1回 | <ul style="list-style-type: none"> ・常用漢字ダブルクリア ・新総合図説国語 | <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の書き取り ・四字熟語 |
| | 第2回 | <ul style="list-style-type: none"> ・常用漢字ダブルクリア | <ul style="list-style-type: none"> ・漢字の書き取り・四字熟語 |
| | 第3回 | <ul style="list-style-type: none"> ・新総合図説国語 | <ul style="list-style-type: none"> ・文学史 |
| 後期 | 第4回 | <ul style="list-style-type: none"> ・新総合図説国語 | <ul style="list-style-type: none"> ・文学史 |
| | 第5回 | <ul style="list-style-type: none"> ・新総合図説国語 ・常用漢字ダブルクリア | <ul style="list-style-type: none"> ・同音異義語・同訓異義語 ・故事成語・慣用句 |
| | 第6回 | <ul style="list-style-type: none"> ・新総合図説国語 | <ul style="list-style-type: none"> ・原稿用紙の使い方 |

(新課程)「高校数学入門」

| | | 学習の内容 | 学習の目標 |
|----|-----|-------------------------|---|
| 前期 | 第1回 | 整数 正負の数の計算 | ・倍数と約数、素数について学び、素因数分解ができる ・0より小さい数である負の数を理解し、使いこなす |
| | 第2回 | 小数の計算 分数の計算 計算の利用 | ・小数の加法・減法ができる ・分数の意味を理解し、分数で表すことができる ・ある量について、割合や比べられる量を求める |
| | 第3回 | 文字と式 | ・文字式の表し方に従って、式を整理できる |
| 後期 | 第4回 | 実数 方程式 | ・平方根を求めたり、根号の性質を用いて計算ができる ・1次方程式を解くことができる |
| | 第5回 | 関数 | ・座標平面上に点をとることができる |
| | 第6回 | 三角形 様々なグラフ | ・相似な三角形の性質を利用して、直角三角形の辺の長さを求めることができる ・グラフの種類を知り、目的に応じてデータをグラフに表すことができる |

(新課程)「高校英語入門」

| | | 学習の内容 | 学習の目標 |
|----|-----|---|--|
| 前期 | 第1回 | First Stage Part1～ Part4 | ・代名詞・be動詞・不定冠詞について学習する ・This is～、所有格、形容詞、be動詞の否定文、疑問文について学習する ・一般動詞、3単現のs、定冠詞、複数形について学習する |
| | 第2回 | Second Stage Part5～ Part8 | ・一般動詞の否定文、疑問文について学習する ・There is(are)～の文とその否定文・疑問文について学習する ・疑問詞 What Whoについて学習する |
| | 第3回 | First Stage Story Second Stage Story | ・会話形式の英文を読んで、単語の意味や読み方を確認する |
| 後期 | 第4回 | Third Stage Part9～ Part12 | ・be動詞の過去形とその否定文・疑問文について学習する ・一般動詞の過去形について学習する ・一般動詞の過去形の否定文・疑問文について学習する ・疑問詞 When Where |
| | 第5回 | Final Stage Part13～ Part16 | ・現在進行形について学習する ・助動詞の文とその否定文・疑問文、命令文について学習する ・to不定詞の働きについて学習する |
| | 第6回 | Third Stage Story Final Stage Story | ・物語形式の英文を読んで、単語の意味や読み方を確認する |

2 各科目のスクーリング時数とレポート枚数

| 前期 | | | 後期 | | |
|----------|----------|--------|----------|----------|--------|
| 科目 | スクーリング時数 | レポート枚数 | 科目 | スクーリング時数 | レポート枚数 |
| 現代の国語 | 2 | 6 | 現代の国語 | 2 | 6 |
| 言語文化 | 2 | 6 | 言語文化 | 2 | 6 |
| 現代文 A | 1 | 3 | 現代文 A | 1 | 3 |
| 地理総合 | 1 | 3 | 地理総合 | 1 | 3 |
| 歴史総合 | 1 | 3 | 歴史総合 | 1 | 3 |
| 世界史 A | 2 | 6 | 公共 | 1 | 3 |
| 公共 | 1 | 3 | (新)政治・経済 | 1 | 3 |
| (新)政治・経済 | 1 | 3 | (旧)政治・経済 | 2 | 6 |
| 数学 I | 2 | 6 | 数学 I | 2 | 6 |
| 数学 A | 1 | 3 | 数学 II | 2 | 6 |
| 数学 II | 2 | 6 | 数学 A | 1 | 3 |
| 科学と人間生活 | 4 | 3 | 科学と人間生活 | 4 | 3 |
| 化学基礎 | 4 | 3 | 化学基礎 | 4 | 3 |
| 生物基礎 | 4 | 3 | 生物基礎 | 4 | 3 |
| 体育 1 | 10 | 2 | 体育 1 | 5 | 1 |
| 体育 2 | 5 | 1 | 体育 2 | 5 | 1 |
| 体育 3 | 5 | 1 | 体育 3 | 5 | 1 |
| 美術 I | 4 | 3 | 保健 1 | 1 | 3 |
| 美術 II | 4 | 3 | 保健 2 | 1 | 3 |
| 英コミュ I | 8 | 6 | 美術 I | 4 | 3 |
| コミュ英 II | 8 | 6 | 美術 II | 4 | 3 |
| 家庭基礎 | 2 | 2 | 英コミュ I | 8 | 6 |
| 情報 I | 2 | 2 | コミュ英 II | 8 | 6 |
| 高校国語入門 | 1 | 3 | 家庭基礎 | 2 | 2 |
| 高校数学入門 | 1 | 3 | 情報 I | 2 | 2 |
| 高校英語入門 | 1 | 3 | 高校国語入門 | 1 | 3 |
| | | | 高校数学入門 | 1 | 3 |
| | | | 高校英語入門 | 1 | 3 |

※スクーリング時数の一部は、放送視聴を活用します。

図中の提出期限はレポートが本母校に到着する期限を記載していますので、

3 各科目のレポート提出期限 正確な提出期限は夢未来高等学院年間スケジュールを確認してください。

| 前期 | | | 後期 | | |
|------------|---------|---------|------------|-----------|-----------|
| 本母校提出期限 | 6月2日(金) | 7月7日(金) | 本母校提出期限 | 10月20日(金) | 11月17日(金) |
| 現代の国語 | No.1~3 | No.4~6 | 現代の国語 | No.7~9 | No.10~12 |
| 言語文化 | No.1~3 | No.4~6 | 言語文化 | No.7~9 | No.10~12 |
| 現代文 A | No.1~2 | No.3 | 現代文 A | No.4~5 | No.6 |
| 地理総合 | No.1~2 | No.3 | 地理総合 | No.4~5 | No.6 |
| 歴史総合 | No.1~2 | No.3 | 歴史総合 | No.4~5 | No.6 |
| 世界史 A | No.1~3 | No.4~6 | 公 共 | No.4~5 | No.6 |
| 公 共 | No.1~2 | No.3 | (新)政治・経済 | No.4~5 | No.6 |
| (新)政治・経済 | No.1~2 | No.3 | (旧)政治・経済 | No.7~9 | No.10~12 |
| 数 学 I | No.1~3 | No.4~6 | 数 学 I | No.7~9 | No.10~12 |
| 数 学 A | No.1~2 | No.3 | 数 学 II | No.7~9 | No.10~12 |
| 数 学 II | No.1~3 | No.4~6 | 数 学 A | No.4~5 | No.6 |
| 科学と人間生活 | No.1~2 | No.3 | 科学と人間生活 | No.4~5 | No.6 |
| 化学基礎 | No.1~2 | No.3 | 化学基礎 | No.4~5 | No.6 |
| 生物基礎 | No.1~2 | No.3 | 生物基礎 | No.4~5 | No.6 |
| 体 育 1 | No.1 | No.2 | 体 育 1 | No.3 | — |
| 体 育 2 | No.4 | — | 体 育 2 | No.5 | — |
| 体 育 3 | No.6 | — | 体 育 3 | No.7 | — |
| 美 術 I | No.1~2 | No.3 | 保 健 1 | No.1~2 | No.3 |
| 美 術 II | No.1~2 | No.3 | 保 健 2 | No.4~5 | No.6 |
| 英 コ ミ ュ I | No.1~3 | No.4~6 | 美 術 I | No.4~5 | No.6 |
| コ ミ ュ 英 II | No.1~3 | No.4~6 | 美 術 II | No.4~5 | No.6 |
| 家 庭 基 礎 | No.1 | No.2 | 英 コ ミ ュ I | No.7~9 | No.10~12 |
| 情 報 I | No.1 | No.2 | コ ミ ュ 英 II | No.7~9 | No.10~12 |
| 高校国語入門 | No.1~2 | No.3 | 家 庭 基 礎 | No.3 | No.4 |
| 高校数学入門 | No.1~2 | No.3 | 情 報 I | No.3 | No.4 |
| 高校英語入門 | No.1~2 | No.3 | 高校国語入門 | No.4~5 | No.6 |
| | | | 高校数学入門 | No.4~5 | No.6 |
| | | | 高校英語入門 | No.4~5 | No.6 |

※本母校からの返却は、2週間後を目途に予定しています。

図中の提出期限はレポートが本母校に到着する期限を記載していますので、

正確な提出期限は夢未来高等学院年間スケジュールを確認してください。

4 各科目の放送視聴提出期限科目のレポート提出期限

| 前期 | | | 後期 | | |
|----------|---------|---|----------|-----------|---|
| 本母校提出期限 | 7月7日(金) | | 本母校提出期限 | 11月17日(金) | |
| 現代の国語 | I | 「現代の国語」 1~11回 | 現代の国語 | I | 「現代の国語」 12~20回 |
| 言語文化 | I | 「言語文化」1、2、7、8、 25~32、39~46、 65・67回 | 言語文化 | I | 「言語文化」20~23、 46~49、 69・70回 |
| 地理総合 | — | — | 地理総合 | — | — |
| 歴史総合 | — | — | 歴史総合 | — | — |
| 世界史 A | I | 「世界史」2~20、 21~36回 | 公共 | — | — |
| 公共 | — | — | (新)政治・経済 | — | — |
| (新)政治・経済 | — | — | (旧)政治・経済 | I | 「政治・経済」2~17、 20~29、37~41回 |
| 数学 I | I | 「数学 I」1~10回 | 数学 I | I | 「数学 I」11~40回 |
| 数学 A | — | — | 数学 II | I | 「数学 II」51~84回 |
| 数学 II | I | 「数学 II」1~50回 | 数学 A | — | — |
| 科学と人間生活 | 2 | 「科学と人間生活」 2~11回 | 科学と人間生活 | 2 | 「科学と人間生活」 12~16、18~20回 |
| 化学基礎 | 2 | 「化学基礎」 1~16回 | 化学基礎 | 2 | 「化学基礎」 17~40回 |
| 生物基礎 | 2 | 「生物基礎」 1~20回 | 生物基礎 | 2 | 「生物基礎」 21~40回 |
| 体育 I | 5 | 「体育実技」指定なし 「保健体育」6~8回、 13・14回、 20・21回、 27~29回、38回 | 体育 I | 2 | 「体育実技」指定なし 「保健体育」6~8回、 13・14回、 20・21回、 27~29回、38回 |
| 体育 2 | 2 | | 体育 2 | 2 | |
| 体育 3 | 2 | | 体育 3 | 2 | |
| 美術 I | 2 | 「美術 I」指定なし | 保健 I | — | — |
| 美術 II | 2 | 「美術 I」指定なし | 保健 2 | — | — |

| | | | | | |
|------------|---|---|------------|---|---|
| 英 コ ミ ュ I | 4 | 「英語コミュニケーションⅠ」 4～9回、11～15回 17～19回 | 美 術 I | 2 | 「美術Ⅰ」指定なし |
| コ ミ ュ 英 II | 4 | 「コミュニケーション英語Ⅱ」 2～7回、8～13回、 16～21回、23～28回、 29～34回 | 美 術 II | 2 | 「美術Ⅰ」指定なし |
| 家 庭 基 礎 | 1 | 「家庭総合」 1～29回 | 英 コ ミ ュ I | 4 | 「英語コミュニケーションⅠ」 21・22回、23～25回 26・27回、29～31回、 34～37回 |
| 情 報 I | 1 | 1～6回 | コ ミ ュ 英 II | 4 | 「コミュニケーション英語Ⅱ」 49～54回、56～61回、 62～68回、72～78回 |
| 高校国語入門 | — | — | 家 庭 基 礎 | 1 | 「家庭総合」 30～40回 |
| 高校数学入門 | — | — | 情 報 I | 1 | 7～13回 |
| 高校英語入門 | — | — | 高校国語入門 | — | — |
| | | | 高校数学入門 | — | — |
| | | | 高校英語入門 | — | — |

※本部校からの返却は、2週間後を目途に予定しています。

放送視聴学習報告書（表） 【提出日】令和 5年 6月 25日

| | | | |
|---|---|---------------------|------------------------|
| 学年 | I | 通学コースまたは校舎名 | 西海校 |
| 氏名 | 坂本 力 | | |
| 履修科目名 | 家庭基礎 ※履修している科目を必ず記入すること（番組名 家庭総合は×）。 | | |
| タイトル① | どんなふうに生きたい？ 暮らしたい？ | < 視聴日 > < 視聴時間 > | 6月20日 10時00分～10時20分 |
| 学習のポイント整理 ※年間放送計画表も 参考にまめましよう | ●オトナになるってどういうこと？ ●自立ってなに？ 日時を必ず記入すること ●目標をもって生きるには？ ● ● | | |
| 放送内容 ※学習メモも参考に まめましよう | 今回は、学習の始まりとして、この科目を学ぶ意義について説明があった。 自分の行動や判断に責任を持って、物事を決定し、人とかかり合って生きていくことが「自立」した「オトナ」になることであることを学んだ。また、目標を叶えるために、考えて行動する際、どうしたら良いか自ら判断していくことを「意思決定」ということも知ることができた。 | | |
| 参考となった放送部分 ※レポート学習で活かされたところを教えてください。 | 放送開始10分4秒の部分では、自立を4つの種類に分類し、スタジオ内のメンバーで自立度チェックをおこなっていた。オトナに近づいていることをしめす自立として、生活的自立、経済的自立、精神的自立、性的自立が図式化されていた。レポートNo.2の を解く際に、放送で具体例が示されており、大変参考となった。 | | |
| 評価 | A | B | C |
| | 教科担当より追加コメント <div style="text-align: right;">教科担任確認 105</div> | | |
| | ※授業の一環として認めます。 | | |

< 放送視聴学習報告書の見本 >
記入例

※1枚あたり2番組の視聴が必要となります。
様式は両面印刷されており、
両面とも記入をお願いします。
様式の詳細は別途、夢未来高等学院から配布があります。
年度によって、様式を変更する場合がありますので予めご了承ください。

5 スクーリング・単位認定試験についての案内

○卒業要件

- ①3年間の在籍
- ②科目修得74単位 ※レポート・スクーリング・単位認定試験を行うことで付与。
- ③特別活動30単位時間

スクーリング・試験の予定は年間スケジュールにも記載しています。レポート作成とその成果をはかるスクーリング・単位認定試験に確実に参加してください。なお、下記はあくまで予定ですので変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。詳細につきましては追って連絡いたします。

※1 単位認定試験において欠点が発生した場合、追試を行います。

また、追試の結果によっては追加の課題を課されることがあります。

あらかじめご了承ください。

※2 スクーリング・試験の実施方法や場所等は社会情勢を鑑み変更する場合があります。

あらかじめご了承ください。

| 名称 | 実施日(予定) | 基本となる会場 |
|-------------------------|---------------------------------|-----------------------------|
| おおむら校・しまばら校 夏季スクーリング | 令和5年7月26日(水) ~令和5年7月28日(金) | 本部長 こころ未来高等学校(長崎) |
| おおむら校・しまばら校 前期試験 | 令和5年8月3日(木) ~令和5年8月4日(金) | // |
| おおむら校・しまばら校 冬季スクーリング | 令和5年12月20日(水) ~令和5年12月22日(金) | // |
| おおむら校・しまばら校 後期試験 | 令和6年1月15日(月) ~令和6年1月16日(火) | // |
| 佐世保校 夏季スクーリング | 令和5年7月19日(水) ~令和5年7月21日(金) | // |
| 佐世保校 前期試験 | 令和5年8月3日(木) ~令和5年8月4日(金) | // |
| 佐世保校 冬季スクーリング | 令和5年12月13日(水) ~令和5年12月15日(金) | // |
| 佐世保校 後期試験 | 令和6年1月15日(月) ~令和6年1月16日(火) | // |
| 佐賀校 夏季スクーリング | 令和5年7月26日(水) ~令和5年7月28日(金) | // |
| 佐賀校 前期試験 | 令和5年8月3日(木) ~令和5年8月4日(金) | 面接指導実施施設 エッジ国際美容専門学校(佐賀) |

| | | |
|----------------------|---------------------------------|-------------------------------|
| 佐賀校 冬季スクーリング | 令和5年12月20日(水) ~令和5年12月22日(金) | 本部長 こころ未来高等学校(長崎) |
| 佐賀校 後期試験 | 令和6年1月15日(月) ~令和6年1月16日(火) | 面接指導実施施設 エッジ国際美容専門学校(佐賀) |
| 北九州校・千早校 夏季スクーリング | 令和5年7月26日(水) ~令和5年7月28日(金) | 本部長 こころ未来高等学校(長崎) |
| 北九州校・千早校 前期試験 | 令和5年8月3日(木) ~令和5年8月4日(金) | 面接指導実施施設 九州医療スポーツ専門学校(北九州) |
| 北九州校・千早校 冬季スクーリング | 令和5年12月20日(水) ~令和5年12月22日(金) | 本部長 こころ未来高等学校(長崎) |
| 北九州校・千早校 後期試験 | 令和6年1月15日(月) ~令和6年1月16日(火) | 面接指導実施施設 九州医療スポーツ専門学校(北九州) |
| 姫路校 夏季スクーリング | 令和5年8月16日(水) ~令和5年8月18日(金) | 面接指導実施施設 日ノ本学園(姫路) |
| 姫路校 前期試験 | 令和5年8月27日(日) ~令和5年8月28日(月) | // |
| 姫路校 冬季スクーリング | 令和5年12月25日(月) ~令和5年12月27日(水) | // |
| 姫路校 後期試験 | 令和6年1月4日(木) ~令和6年1月5日(金) | // |
| 大阪信愛校 夏季スクーリング | 令和5年8月16日(水) ~令和5年8月18日(金) | 協力校 大阪信愛高等学校(大阪) |
| 大阪信愛校 前期試験 | 令和5年8月29日(火) ~令和5年8月30日(水) | // |
| 大阪信愛校 冬季スクーリング | 令和6年1月5日(金) ~令和6年1月7日(日) | // |
| 大阪信愛校 後期試験 | 令和6年1月30日(火) ~令和6年1月31日(水) | // |

| | | |
|-------------------------|---|---------------------------|
| MIE 校 夏季スクーリング | 令和 5 年 8 月 28 日(月) ~令和 5 年 8 月 30 日(水) | 面接指導実施施設 名古屋経営短期大学(愛知) |
| MIE 校 前期試験 | 令和 5 年 8 月 31 日(木) ~令和 5 年 9 月 1 日(金) | // |
| MIE 校 冬季スクーリング | 会場と審議中 12月中旬で検討 | // |
| MIE 校 後期試験 | // | // |
| 想論館長崎希望者 夏季スクーリング | 令和 5 年 7 月 19 日(水) ~令和 5 年 7 月 21 日(金) | 本部長 こころ未来高等学校(長崎) |
| 想論館愛知希望者 夏季スクーリング | 令和 5 年 8 月 28 日(月) ~令和 5 年 8 月 30 日(水) | 面接指導実施施設 名古屋経営短期大学(愛知) |
| 想論館 前期試験 | 令和 5 年 8 月 31 日(木) ~令和 5 年 9 月 1 日(金) | // |
| 想論館 冬季スクーリング | 令和 5 年 12 月 24 日(日) ~令和 5 年 12 月 26 日(火) | // |
| 想論館 後期試験 | 令和 5 年 12 月 27 日(水) ~令和 5 年 12 月 28 日(木) | // |
| 静岡校・オイスカ浜松校 夏季スクーリング | 令和 5 年 8 月 21 日(月) ~令和 5 年 8 月 23 日(水) | 協力校 オイスカ浜松国際高等学校 |
| 静岡校・オイスカ浜松校 前期試験 | 令和 5 年 8 月 24 日(木) ~令和 5 年 8 月 25 日(金) | // |
| 静岡校・オイスカ浜松校 冬季スクーリング | 令和 5 年 12 月 21 日(木) ~令和 5 年 12 月 23 日(土) | // |
| 静岡校・オイスカ浜松校 後期試験 | 令和 5 年 12 月 24 日(日) ~令和 5 年 12 月 25 日(月) | // |

想論館の希望者は、夏季スクーリングを長崎本部長で実施予定。

6 特別活動についての案内

○卒業要件

- ①3年間の在籍
- ②科目修得74単位
- ③特別活動30単位時間 ※年間で10時間以上の特別活動への参加が卒業要件のひとつ。

特別活動の予定は年間スケジュールにも記載しています。年間10時間のノルマを計画的に満たしていきましょう。なお、下記はあくまで予定ですので変更となる場合があります。あらかじめご了承ください。

各特別活動の詳細につきましては追って連絡いたします。

※下記の「特活記録用紙の有無」で○がついている場合は必ず記録用紙に感想を記入、活動の記録(写真)も必要となります。

| 名称 | 実施日 (予定) | 参加時間 (最大目安) | 出欠確認 の有無 | 記録用紙 の有無 |
|-----------------------|------------------------------|----------------|-------------|-------------|
| 入学式 | 夢未来高等学院ごと | 2 | ○ | × |
| LHR | 入学時 | 1 | ○ | × |
| | 夏・冬スクーリング時 | 2 | ○ | × |
| | 夢未来高等学院ごと 面談形式 (2月頃予定) | 1 | ○ | × |
| | | | | |
| 薬物乱用防止に関する講話 ※映像配信 | 令和5年6月7日(水) | 1 | ○ | ○ |
| 生と性に関する講話 ※映像配信 | 令和5年7月5日(水) | 1 | ○ | ○ |
| 平和に関する講話 ※映像配信 | 令和5年8月9日(水) | 1 | ○ | ○ |
| 情報教育に関する講話 ※映像配信 | 令和5年10月4日(水) | 1 | ○ | ○ |
| 防災に関する講話 ※映像配信 | 令和5年10月25日(水) | 1 | ○ | ○ |
| 人権に関する講話 ※映像配信 | 令和5年11月29日(水) | 1 | ○ | ○ |
| 卒業証書授与式 | 夢未来高等学院ごと | 2 | ○ | × |

7 事務連絡について映像対応の案内

下にあります QR コードをご自宅で見取り長崎本部校事務の説明をご覧ください。

この QR コードは、こころ未来高等学校 HP 内の夢未来高等学院紹介ページにリンクしています (https://www.kokoromirai.ed.jp/style/commuting_style4/)。

その冒頭に掲載されている映像をご覧ください。

映像の前半はこの手引きの概要説明、後半が事務連絡となっています。

なお、事務連絡に係る資料はこのページ以降に掲載されています。



※何かご不明な点等ございましたら、夢未来高等学院の先生や長崎本部校事務局へ

お気軽にお問い合わせください。

就学支援金について

1. 制度について

国の費用による授業料に充てる返還の必要がない補助金。

2. 支給額について

保護者全員の年収目安

年間支給額

590万円以下

⇒ 297,000円

910万円以下

⇒ 118,800円

910万円以上

⇒ 支給対象外

※年収はあくまでも目安。課税標準額を基にした算出額で判定。

3. 申請の流れ

| 年度 | 学年 | 月 | | | | | | | | | | | |
|-----|----|---------|---|---|---------|---|---|----|----|----|---|---|---|
| | | 4 | 5 | 6 | 7 | 8 | 9 | 10 | 11 | 12 | 1 | 2 | 3 |
| R04 | 1 | ①受給資格認定 | | | ②収入状況届出 | | | | | | | | |
| R05 | 2 | ③収入状況届出 | | | ④収入状況届出 | | | | | | | | |
| R06 | 3 | ④収入状況届出 | | | ④収入状況届出 | | | | | | | | |

☆7月から年度毎の税額が変更

【注意事項】

○3年間で合計4回の申請。(7月から年度毎の税額が変更となるため。)

○マイナンバーの提出により、税額確認書類は1回の提出。

※マイナンバー未提出の場合、各年度の所得課税証明書の提出が必要。

○支給期間は48カ月。(休学期間は除く)

☆期中でも親権者の変更(結婚、離婚、養子縁組等)があった場合は、**収入状況変更届出**が必要となるため、速やかに学校へご連絡ください。

長崎県の私立高校における授業料・校納金に対する負担軽減について

3つの制度があります！

1. 高等学校等就学支援金（全国一律の制度）
保護者の所得に応じて、授業料負担を軽減します。
保護者の年収目安ごとの支給額は下表をご覧ください。
実際の判定は年収ではなく文部科学省の算定式を基に判定します。（詳細は別紙参照）
2. 長崎県私立高等学校授業料軽減補助金（長崎県の制度）
保護者の所得に応じて、高等学校等就学支援金に上乗せして授業料負担を軽減します。
年収目安に応じた助成額は下表をご覧ください。
実際の判定は年収ではなく税額を基に判定します。（詳細は別紙参照）
【要件】・生徒が県内の私立高校に通学していること
・保護者が県内に住所を有していること
3. 長崎県私立高等学校等奨学給付金（長崎県の制度）
上記とは別に、保護者の授業料以外の負担を軽減します。
【要件】
・保護者の道府県民税及び市町村民税所得割額が0円（非課税）または生活保護（生業扶助）受給世帯であること
・保護者が県内に住所を有していること（生徒が県外の高校に在学している場合でも対象となります）

※「年収」は目安であり、審査は別に定める判定方法に基づき行います。また審査には一定期間要します。

※年収目安となっているモデル世帯：両親のうちどちらか一方が働き、高校生一人（16歳以上）、中学生一人の子供がいる世帯

保護者の年収目安ごとの金額（年額）

※令和2年度7月以降の内容です。

| 年収目安 | 授業料に充てるもの | | 授業料以外に充てるもの | |
|--------------------|------------------------------|----------------------------|---|------------------|
| | 就学支援金(国) | 授業料軽減補助金(県) | 奨学給付金(県) | |
| 910万円以上 | | | | |
| 720万円以上 910万円未満 | 118,800円 | | | |
| 590万円以上 720万円未満 | 118,800円 | 全日制 79,200円 通信制 29,700円 | | |
| 270万円以上 590万円未満 | 全日制 396,000円 通信制 297,000円 | | | |
| 270万円未満 | 全日制 396,000円 通信制 297,000円 | 通信制 63,000円 ※通信制のみ | 【全日制・定時制】 (第1子) 103,500円 (第2子以降) 138,000円 ※1 | 【通信制】 38,100円 |
| | | | 【全日制・定時制・通信制】 52,600円 | |
| 生活保護世帯等 | 全日制 396,000円 通信制 297,000円 | 全日制 63,600円 通信制 63,000円 | 【全日制・定時制・通信制】 52,600円 | |

※1 扶養されている子どもの人数等の世帯状況によって給付額は異なります。

長崎県総務部学事振興課 095-895-2282

長崎県の私立高校における授業料・校納金に対する負担軽減について

※令和2年度7月以降の内容です。

1. 高等学校等就学支援金（全国一律の制度）

○次の計算式（両親2人分の合計額）により判定

判定方法：市町村民税の課税標準額×6%－市町村民税の調整控除額

※政令指定都市の場合は、「調整控除の額」に3/4を乗じて計算する。

上記による算出額が

| | | |
|-----------------------|---|--------------------|
| 154,500円未満 | ⇒ | 年収約590万未満世帯 |
| 154,500円以上～304,200円未満 | ⇒ | 年収約590万以上～910万未満世帯 |
| 304,200円以上 | ⇒ | 年収約910万以上世帯 |

高等学校就学支援金の支援対象となる世帯年収目安（あくまで目安です）

両親のうち一方が働いている場合

| 家族構成 | 39万6,000円の支給 | 11万8,800円の支給 |
|--|--------------|-----------------|
| 子1人(高校生) | 約590万円未満 | 約590万円～約910万円未満 |
| 子2人(高校生・中学生以下) 扶養控除対象者が1人の場合 | 約590万円未満 | 約590万円～約910万円未満 |
| 子2人(高校生・高校生) 扶養控除対象者が2人の場合 | 約640万円未満 | 約640万円～約950万円未満 |
| 子2人(大学生・高校生) 扶養控除対象者が1人、特定扶養控除対象者が1人の場合 | 約650万円未満 | 約650万円～約960万円未満 |
| 子3人(大学生・高校生・中学生以下) 扶養控除対象者が1人、特定扶養控除対象者が1人の場合 | 約650万円未満 | 約650万円～約960万円未満 |

モデル世帯

両親共働きの場合

| 家族構成 | 39万6,000円の支給 | 11万8,800円の支給 |
|--|--------------|-------------------|
| 子1人(高校生) | 約660万円未満 | 約660万円～約1,030万円未満 |
| 子2人(高校生・中学生以下) 扶養控除対象者が1人の場合 | 約660万円未満 | 約660万円～約1,030万円未満 |
| 子2人(高校生・高校生) 扶養控除対象者が2人の場合 | 約720万円未満 | 約720万円～約1,070万円未満 |
| 子2人(大学生・高校生) 扶養控除対象者が1人、特定扶養控除対象者が1人の場合 | 約740万円未満 | 約740万円～約1,090万円未満 |
| 子3人(大学生・高校生・中学生以下) 扶養控除対象者が1人、特定扶養控除対象者が1人の場合 | 約740万円未満 | 約740万円～約1,090万円未満 |

※子について、中学生以下は15歳以下、高校生は16～18歳、大学生は19～22歳とします。

※給与所得以外の収入はないものとします。

※【両親片働きの場合】年収の目安について、両親のうち、非生計維持者は、配偶者控除対象となっている場合を指します。

※【両親共働きの場合】両親の収入は同額とします。

※【両親共働きの場合】扶養控除及び特定扶養控除については、全て一方の親の控除として扱っています。

2. 長崎県私立高等学校授業料軽減補助金（長崎県の制度）

○次のとおり判定（両親2人の場合、両親分の合計額）

| | | |
|--------------------|---|--------------------|
| 生活保護世帯（生活扶助を受給） | ⇒ | 生活保護世帯 |
| 県民税及び市町村民税の所得割額 0円 | ⇒ | 年収約270万未満世帯 |
| 課税標準額 3,615,000円未満 | ⇒ | 年収約590万以上～720万未満世帯 |

※その他詳細は県学事振興課へお問い合わせください。

長崎県総務部学事振興課 095-895-2282

スポーツ振興センター加入・各種証明書発行について

○各種証明書発行について

証明書 … 在学証明書、卒業見込証明書、卒業証明書、単位修得証明書、成績証明書、生徒証明書、調査書、推薦書

・「証明書交付願」(図 1)、「調査書・推薦書交付願」(図 2) に必要事項を記入し夢未来高等学院へ手数料とともに提出。(郵送の場合は送料も提出)

※夢未来高等学院に交付願及び手数料を直接提出できない場合の手数料・送料は必要金額分の切手を夢未来高等学院に送ることで対応可能。

※調査書や推薦書は、奨学金などの進学・就職以外で必要な場合は、「証明書交付願」(図 1) を使用。

・生徒証明書(学生証)について

入学時に配布し3年間使用。発行手数料は必要ありません。

ただし、紛失した場合は再発行の手続きが必要なため速やかに夢未来高等学院の先生へ連絡してください。(再発行は発行手数料が必要)

【図 1】

| 証明書交付願 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|---|----------------------|---------------------------------|-----|----------------------|-----|----------------------|-------|----------------------|---------|----------------------|-------|----------------------|---------|----------------------|-------|----------------------|-----------|----------------------|-------|----------------------|
| <p>いづれかに○をお願いします 在校生 ・ 卒業生</p> <p>生徒氏名: _____ コース: _____ 学年: _____</p> <p>生年月日: _____年 _____月 _____日 入学年度: _____年度</p> <p>住所: _____</p> | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 種 別 | 必要な枚数 | 使用目的 (提出先などでできるだけ具体的に記入すること) | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 在学証明書 | 進 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 卒業見込証明書 | 進 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 卒業証明書 | 進 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 単位修得証明書 | 進 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成績証明書 | 進 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 調査書 | 進 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 推薦書 | 進 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 生徒証明書の再発行 | 進 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 進学証明書 | 進 | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| <p>注: 大学・短大等への提出者は、学部・学科まで記入してください。</p> <p>●発行手数料 (送料は「郵便記録」の料金)</p> <table border="0"> <tr> <td>調査書</td> <td>(手数料: ¥500 送料: ¥244)</td> </tr> <tr> <td>推薦書</td> <td>(手数料: ¥500 送料: ¥244)</td> </tr> <tr> <td>在学証明書</td> <td>(手数料: ¥500 送料: ¥244)</td> </tr> <tr> <td>卒業見込証明書</td> <td>(手数料: ¥500 送料: ¥244)</td> </tr> <tr> <td>卒業証明書</td> <td>(手数料: ¥500 送料: ¥244)</td> </tr> <tr> <td>単位修得証明書</td> <td>(手数料: ¥500 送料: ¥244)</td> </tr> <tr> <td>成績証明書</td> <td>(手数料: ¥500 送料: ¥244)</td> </tr> <tr> <td>生徒証明書の再発行</td> <td>(手数料: ¥500 送料: ¥244)</td> </tr> <tr> <td>進学証明書</td> <td>(手数料: ¥500 送料: ¥244)</td> </tr> </table> <p>※各種証明書を学校にて直接受け取る場合は送料不要です。 ※送料は「郵便記録」の料金</p> | | | 調査書 | (手数料: ¥500 送料: ¥244) | 推薦書 | (手数料: ¥500 送料: ¥244) | 在学証明書 | (手数料: ¥500 送料: ¥244) | 卒業見込証明書 | (手数料: ¥500 送料: ¥244) | 卒業証明書 | (手数料: ¥500 送料: ¥244) | 単位修得証明書 | (手数料: ¥500 送料: ¥244) | 成績証明書 | (手数料: ¥500 送料: ¥244) | 生徒証明書の再発行 | (手数料: ¥500 送料: ¥244) | 進学証明書 | (手数料: ¥500 送料: ¥244) |
| 調査書 | (手数料: ¥500 送料: ¥244) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 推薦書 | (手数料: ¥500 送料: ¥244) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 在学証明書 | (手数料: ¥500 送料: ¥244) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 卒業見込証明書 | (手数料: ¥500 送料: ¥244) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 卒業証明書 | (手数料: ¥500 送料: ¥244) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 単位修得証明書 | (手数料: ¥500 送料: ¥244) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 成績証明書 | (手数料: ¥500 送料: ¥244) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 生徒証明書の再発行 | (手数料: ¥500 送料: ¥244) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
| 進学証明書 | (手数料: ¥500 送料: ¥244) | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |

【図 2】

| 調査書・推薦書交付願 | | |
|---|---|---|
| 種 別 | 必要な枚数 | <p>いづれかに○をつけてください。 推薦 ・ AO ・ 一般</p> |
| 調 査 書 | 進 | |
| 推 薦 書 | 進 | |
| <p>生徒氏名: _____ コース: _____ 学年: _____</p> <p>昭和 _____年 _____月 _____日生 電話番号 _____</p> <p>〒 _____</p> <p>生徒住所: _____</p> | | |
| 志望校 | 大学 ・ 短期大学 ・ 専門学校 | |
| 志望学部・学科 | 学部 _____ 学科 _____ | |
| 志望校住所 | 〒 _____ | |
| 志望校TEL | _____ | |
| 出願期間 | _____年 _____月 _____日 ~ _____年 _____月 _____日 | |
| 入試日 | _____年 _____月 _____日 | |
| 入試会場 | _____ | |
| 合格発表日 | _____年 _____月 _____日 | |
| <p>●発行手数料 (送料は「郵便記録」の料金)</p> <p>調査書 (手数料: ¥500 送料: ¥244)</p> <p>推薦書 (手数料: ¥500 送料: ¥244)</p> <p>※各種証明書を学校にて直接受け取る場合は送料不要です。</p> | | |

※全ての発行手数料は 400 円。送料は 370 円 (レターパックライトの料金)。

○日本スポーツ振興センター災害共済給付制度について

災害共済給付制度とは…

学校の管理下において生徒が災害（けが等）にあった場合、その治療費や見舞金の給付を保護者に対しておこなう制度。

- ・保護者負担掛金 250 円

※学費に含まれているため別途準備する必要はなく、同意書【図3】の提出のみでよい。

- ・学校の管理下とは…

(別紙「学校でけがをしたときは…」参照)

- ・給付までの流れ

(別紙「学校又は通学中でケガをした時の手続き方法」参照)

※医療機関での受診料は各自でご負担ください。

手続き終了後、日本スポーツ振興センターより給付金が支給されます。

【図3】

| | |
|--------|--|
| 保護者 各位 | 学校法人第二岩水学園 ころ東高等学校 校長 平山 サナエ (公印省略) |
|--------|--|

独立行政法人日本スポーツ振興センターの災害共済給付制度への加入について

届入学おめでたうございます。
 このころ東高等学校では在学する生徒の不慮の災害に備えて、独立行政法人日本スポーツ振興センター(以下、「JSC」といいます。)と災害共済給付契約を結んでいます。
 JSCの災害共済給付は、学校の管理下において児童生徒が災害に遭った場合、その治療費や見舞金の給付を保護者の皆様に対して行う制度で、加入に際しては、あらかじめ保護者の皆様の同意の下に、児童生徒の名簿を提出することになっています。加入は任意となっていますが、加入に同意したる方は、下記の同意書に御記入の上、学校長へ提出してください。
 また、災害共済給付の請求は、インターネットを利用した請求システムに必要な事項を入力することにより行われますが、個人情報取扱いは十分留意いたしますので、ご了承ください。
 給付の内容等は、独立行政法人日本スポーツ振興センター法又はこれに基づく政令、省令、通達等に定められています。令和2年1月1日現在、その主な内容は以下のとおりです。
 ※災害共済給付は契約において、本人同意書により、初期の同意後、在学中は自動更新となります。

| 災害の種類 | 災害の範囲 | 給付金額 |
|-------|--|--|
| 火災 | その原因で火災が学校の管理下で生じたもので、賠償に要する費用の額が5,000円以上もの | 医療費 ・治療費等の賠償に要する費用の額の4/10(そのうち1/10は、賠償に要する費用のうち追加される部分) ただし、高額療養費の対象となる場合は、自己負担額(所得区分により認定費が異なる。)に賠償に要する費用の額の1/10を加算した額 ・入院費等の賠償に要する費用の額の1/10を加算した額 |
| 疾病 | ①学校給食等による中毒・ボタニによる中毒・熱中症・熱水・動物の噛み傷又は送込による疾病・伝染による疾病 ②外傷等による疾病・自然による疾病 | 障害見舞金 4,000万円(18歳以下) (通学)中の災害の場合2,000万円~44万円 |
| 障害 | 学校の管理下での負傷又は上乗の乗車中(バス)に得た障害(その程度は別表1第14欄に区分される) | 死亡見舞金 3,000万円(通学)中の場合1,500万円 |
| 死亡 | ①運動などの行為に起因する突然死 ②運動などの行為に起因する突然死・疾病 | 死亡見舞金 3,000万円(通学)中の場合1,500万円 死亡見舞金 3,000万円(通学)中の場合1,500万円 |

なお、学校の管理下とは、次の場合をいいます。
 ①学校が編成した教育課程に基づく授業を受けている場合
 ②学校の教育計画に基づく課外指導を受けている場合
 ③休憩時間中、その他校長の指示・承認に基づき学校にある場合
 ④通常の経路及び方法により通学する場合
 ⑤寄宿舎にあるとき 等

■給付に関する注意事項
 ① 同一の災害の負傷又は疾病についての医療費の支給は、初診から最長10年間行われます。
 ② 災害共済給付を受ける権利は、その給付事由発生の日から、2年間行わないときは、消滅によって消滅します。
 ③ 災害共済給付の給付事由と同一の事由について、損害賠償を受けたときは、その償額の限度において、給付を行わない場合があります。
 ④ 給付の法令の規定による給付等(例:条例に基づき乳幼児医療助成)を受けたときは、その受けた限度において、給付を行いません。
 ⑤ 生活保護法による保護を受けている児童に属する義務教育諸学校及び保育所等の児童生徒に係る災害については、医療費の給付は行いません。
 ⑥ 高等学校、高等専門学校及び高等専修学校の生徒又は学生が自己の故意の犯罪行為により、又は故意に、負傷し、疾病にかかり、又は死亡したときは、当該医療費、障害又は死亡に係る災害共済給付を行いません。ただし、当該生徒又は学生が、いじめ、体罰、その他の当該生徒又は学生の責めに帰することができる事由により生じた場合、心理的な負傷により、故意に負傷し、疾病にかかり、又は死亡したときは、この限りではありません。
 ⑦ 高等学校、高等専門学校及び高等専修学校の生徒又は学生が自己の重大な過失により、負傷し、疾病にかかり、又は死亡したときは、当該障害又は死亡に係る災害共済給付の一部を行わない場合があります。
 ※これはJSCの災害共済給付制度の概要を記載したものです。

■負担金(年額)
 保護者負担額 250 円(一部学校負担金あり) 負担金額は年額です。
 (注) 保護者負担金の割合については、学費に含まれておりますので別途準備していただく必要はありません。

(きりとり)

ころ東高等学校 同意書

貴校が独立行政法人日本スポーツ振興センターと締結する災害共済給付契約について、在学期間中は毎年保護者負担金250円(年額)を支払うことにより、下記生徒が加入することに同意します。

令和 年 月 日 生徒氏名 _____

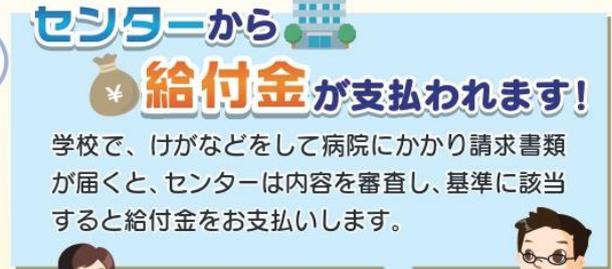
保護者又は後見人氏名 _____ 印

学校(園)でけがをしたときは…

独立行政法人日本スポーツ振興センターでは、学校で起こったけがなどに対して医療費等の給付を行っています。この給付の経費を、国・学校の設置者・保護者(同意確認後)の三者で負担しています。その仕組みを「**災害共済給付制度**」といいます。



先日体育の授業でけがをしたヒデオくん。病院での治療を受けたようです。



- * 健康保険が適用される受診が対象です。
- * 受診した月から2年間請求を行わなかった場合、給付が受けられなくなります。

お願い

『医療等の状況』等を医療機関等に証明していただくに当たっては、医師、歯科医師、薬剤師、柔道整復師、鍼灸師のみなさまの特別の配慮によりご協力をいただいております。用紙を持参してもその場で書くだけではない場合もありますことをご了承ください。



学校の管理下って？

1

授業中（保育中を含む）

例 各教科、遠足、修学旅行、大掃除など



2

学校の教育計画に基づく課外指導中

例 部活動、林間学校、臨海学校など



3

休憩時間中及び学校の定めた特定時間中

例 始業前、業間休み、昼休み、放課後



4

通常の経路及び方法による通学（園）中

例 登校（登園）中、下校（降園）中



5

その他
寄宿舎にあるとき

こんなときに給付金をお支払いします



障害 負傷や疾病が治った後に残った後遺症（その程度によって第1級から第14級まで区分）
死亡 学校の管理下において発生した事件や疾病に直接起因する死亡、突然死

本チラシは概要をお知らせしています。詳しくは、「災害共済給付制度」のお知らせ、センターホームページをご覧ください。

JAPAN SPORT
COUNCIL
日本スポーツ振興センター

<https://www.jpnsport.go.jp/anzen/>

学校(園)又は通学(園)中にケガをした時の手続き方法

申請の手続きは、次のとおりお願いします。

- 1 学校(園)の先生から請求に必要な用紙を受け取ってください。各用紙は、JSCのホームページからダウンロードすることもできます。

【請求に必要な主な用紙】

| 用紙の種類 | 証明機関 | 説明 |
|---------------------|--------------|---|
| 医療等の状況(別紙3(1)) | 病院・歯科医院 | 医療機関を受診したときに使用します。 |
| 医療等の状況(別紙3(3)) | 柔道整復師(接骨院など) | 柔道整復師から施術を受けたときに使用します。 |
| 調剤報酬明細書(別紙3(7)) | 保険薬局 | 医師の処方箋により、保険薬局から薬を購入したときに使用します。 |
| 治療用装具・生血明細書(別紙3(6)) | 医療機関・保護者 | 医師が治療上必要と認めた治療用装具を購入したときに使用します。 ※領収書の写しの添付と保護者の証明(下半分)が必要です。 |

- 2 受診した医療機関等に1の用紙を提出し、証明を受けてください。
*健康保険が適用される受診が対象です。
*複数月にかかる場合は、療養月ごとの証明が必要となります。
- 3 2の用紙を学校(園)の先生に提出してください。
*医療費(医療等の状況の診療報酬請求点数又は治療用装具の装具費用)が7,000点(70,000円)以上の場合は、「高額療養状況の届」が必要となります(医療費助成制度を利用した場合※は、提出を省略できます。)

*受診した月から2年間請求を行わなかった場合は、時効により給付が受けられなくなります。
例：2019年2月療養分は、2021年3月10日までにJSCに請求しないと時効になります。
*医療費助成制度を利用※又は高額療養費に該当した場合は、自己負担額に応じた給付金をお支払いします。

※医療費助成制度については、自治体により取扱いが異なります。

災害発生から給付金を受け取るまでのながれ



災害共済給付制度とは

学校で起こったケガ等に対して医療費の給付を行う制度です。この給付の経費を、国・学校の設置者・保護者(同意確認後)の三者で負担しています。

お願い

「医療等の状況」等を医療機関等に証明していただくに当たっては、医師、歯科医師、薬剤師、柔道整復師、鍼灸師のみなさまの特別の配慮によりご協力をいただいております。

用紙を持参してもその場ですぐには書いていただけない場合もありますことをご了承ください。

学校(園)の先生方へ こちらの用紙を「医療等の状況」と共に保護者にお渡しください。



JAPAN SPORT COUNCIL
日本スポーツ振興センター

目指す学校像



School Mission

- ①多様性を尊び、個々のニーズに応える学校
- ②柔軟なカリキュラム編成と個に応じた支援により、ともに自立に向けて学ぶ開かれた学校

校訓： 立志 快心 感謝

心・技翔創変の精神の基に、心の成長と人格の形成を目指します

スクールポリシー (School Policy)

I 育てたい生徒像 (Graduation Policy)

何ができるようにするか

- (1) 自己の存在感を実感し、主体的に学ぶ生徒
- (2) 良さを認め合い、協力して活動できる生徒
- (3) 役割を自覚し、自ら選択し決定できる生徒

II 教育課程に関する方針 (Curriculum Policy)

教育活動全体を通じて多様性を尊重し、自己理解を深め、寛容でしなやかな心をもつ生徒を育みます

何を学ぶか、どのように学ぶか

- (1) 丁寧なレポート添削で、確実な知識の習得と主体的に学ぶ態度を身に付けます
- (2) 1年次は国語・数学・英語の入門授業で振り返り学習を行い、基礎学力の定着を図ります
- (3) 進路学習や選択授業等を通して自らの可能性を発見し、進路の実現に向けて目的意識をもって学び続ける姿勢を身に付けます
- (4) 学習支援のツールとして ICT の利活用を推進し、効果的に学びを深める態度を養います
- (5) 行事や各種講話等に積極的に参加し、豊かな人間関係の形成と社会の一員としてのより良い生き方について学びを深めます
- (6) 社会体験や仲間と協働する体験を通して、自主性、協調性、責任感を身に付け、互いのよさを認め合い支え合う態度を養います

III 求める生徒像 (Admission Policy)

こんな受験生を待っています

- (1) 通信制の学習は自学自習が基本。分からないことを分からないと言える、あきらめずにやってみようという気持ちで学習に取り組む生徒
- (2) なぜ、どうして、何のためにという学びへの好奇心をもって、失敗を恐れずチャレンジしようとする生徒
- (3) 互いを認め合い、他者を共感的に受け入れ、進んで関わろうとする生徒



～むすびに～

こころ未来高等学校では広報活動の一環として、学校の様々な情報や生徒の生き生きとした様子などを本校公式ホームページや SNS 上で公開しております。また広報物を発行する機会や、テレビ・新聞等の報道機関に取材していただく機会もあり、多くの方々に学校の様子をお届けしております。

是非、お時間のある際に、以下の公式 SNS アカウントにもご登録ください。



KOKORO MIRAI SNS

